

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	4	3年1～6組

使用教科書	副教材
『精選 現代文B』教育出版	『大学入学共通テスト準備演習 論理・文学編』『改訂版 評論速読トレーニング 1500』『プレミアムカラー国語便覧』数研出版、 『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 改訂版』いっぴぐな書店、 『改訂版 読み・解き・覚える 日本文学史必携』第一学習社

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や語句の意味等、知識面の充実を図る。</li> <li>論理的な読み方を身に付ける。</li> <li>背景となる思想を理解する。</li> <li>入試に対応できる力を身に付ける。</li> </ul>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
授業に積極的に参加し、自ら考える姿勢が見られるか。	聞くことにより理解し、理解に対する意見を述べる事ができるか。	情報を正確に取捨選択し、まとめ、適切な日本語表現で伝えることができるか。	論理的に読むことができ、作者の意図を理解することができるか。	豊かで正確な語彙力を理解し、自ら使うことができるか。

3. 学習計画および学習内容等

1	4	基礎学力到達度テスト対策	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>課題提出状況・内容</li> <li>小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul>
	5	問題演習	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。	
		評論「ロスト近代」	今という時代における、自分たちの身の回りの世界について新たな認識を得て、自分の考えを深める。	
	6	問題演習	評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。評論用語を中心に語彙力の充実を図る。	
		評論「(私)はどこへ行く？」	現代社会についての筆者の考えを、文章の構成や展開を確かめながら的確につかむ。	
問題演習		選択肢の選び方を身に付ける。共通テストレベルの問題に対応できるようにする。		
		文学史	近現代の文学について知る。	
2	9	基礎学力到達度テスト対策	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>課題提出状況・内容</li> <li>小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul>
	10	問題演習	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。評論用語を中心に語彙力の充実を図る。	
			小説の読み方を理解し、登場人物の心情を理解する。場面の展開や背景を理解する。	
11		小説全体のテーマを理解し、作者の意図を理解する。記述問題に対して、適した解答の仕方を理解する。選択肢の選び方を身に付ける。希望大学・私学難関レベルの問題に対応できるようにする。		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	2	3年7～9組

使用教科書	副教材
『精選 現代文B』教育出版	『大学入学共通テスト準備演習 論理・文学編』『改訂版 評論速読トレーニング 1500』『プレミアムカラー国語便覧』数研出版、 『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 改訂版』いっぴぐな書店、 『改訂版 読み・解き・覚える 日本文学史必携』第一学習社

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や語句の意味等、知識面の充実を図る。</li> <li>論理的な読み方を身に付ける。</li> <li>背景となる思想を理解する。</li> <li>入試に対応できる力を身に付ける。</li> </ul>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
授業に積極的に参加し、自ら考える姿勢が見られるか。	聞くことにより理解し、理解に対する意見を述べる事ができるか。	情報を正確に取捨選択し、まとめ、適切な日本語表現で伝えることができるか。	論理的に読むことができ、作者の意図を理解することができるか。	豊かで正確な語彙力を理解し、自ら使うことができるか。

3. 学習計画および学習内容等

1	4	基礎学力到達度テスト対策	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>課題提出状況・内容</li> <li>小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul>
	5	問題演習	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。	
		評論「ロスト近代」	今という時代における、自分たちの身の回りの世界について新たな認識を得て、自分の考えを深める。	
	6	問題演習	評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。評論用語を中心に語彙力の充実を図る。	
評論「(私)はどこへ行く？」		現代社会についての筆者の考えを、文章の構成や展開を確かめながら的確につかむ。		
問題演習		選択肢の選び方を身に付ける。共通テストレベルの問題に対応できるようにする。		
		文学史	近現代の文学について知る。	
2	9	基礎学力到達度テスト対策	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>課題提出状況・内容</li> <li>小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul>
	10	問題演習	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。評論用語を中心に語彙力の充実を図る。	
	11		小説の読み方を理解し、登場人物の心情を理解する。場面の展開や背景を理解する。	
		小説全体のテーマを理解し、作者の意図を理解する。記述問題に対して、適した解答の仕方を理解する。選択肢の選び方を身に付ける。希望大学・私学難関レベルの問題に対応できるようにする。		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	現代文B	3	3年12組

使用教科書	副教材
『精選 現代文B』教育出版	『大学入学 共通テスト演習 現代文』『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 改訂版』いっずな書店、『改訂版 評論速読トレーニング1500』『プレミアムカラー国語便覧』数研出版、『改訂版 読み・解き・覚える 日本文学史必携』第一学習社

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や語句の意味等、知識面の充実を図る。</li> <li>論理的な読み方を身に付ける。</li> <li>背景となる思想を理解する。</li> <li>入試に対応できる力を身に付ける。</li> </ul>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
授業に積極的に参加し、自ら考える姿勢が見られるか。	聞くことにより理解し、理解に対する意見を述べる事ができるか。	情報を正確に取捨選択し、まとめ、適切な日本語表現で伝えることができるか。	論理的に読むことができ、作者の意図を理解することができるか。	豊かで正確な語彙力を理解し、自ら使うことができるか。

3. 学習計画および学習内容等

1	4	基礎学力到達度テスト対策 (問題演習)	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。 選択肢の選び方を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>課題提出状況・内容</li> <li>小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul>
	5	共通テスト対策 (問題演習)	評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。 選択肢の選び方を身に付ける。	
	6	評論「(私)はどこへ行く？」	現代社会についての筆者の考えを、文章の構成や展開を確かめながら的確につかむ。 デジタルテクノロジーの発達によって、「私」の捉え方がどう変化しつつあるのかについて、筆者の考えを読み取る。	
		共通テスト対策 (問題演習)	評論用語を中心に語彙力の充実を図る。 選択肢の選び方を身に付ける。 共通テストレベルの問題に対応できるようにする。	
2	9	入試対策 (問題演習)	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。 評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。 評論用語を中心に語彙力の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>課題提出状況・内容</li> <li>小テスト</li> <li>定期試験</li> </ul>
	10		小説の読み方を理解し、登場人物の心情を理解する。 場面の展開や背景を理解する。	
	11		小説全体のテーマを理解し、作者の意図を理解する。 記述問題に対して、適した解答の仕方を理解する。 選択肢の選び方を身に付ける。 希望大学・私学難関レベルの問題に対応できるようにする。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	3年1組～6組

使用教科書	副教材
精選古典B (大修館書店)	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)、新精選古典文法 (東京書籍)、精説漢文 (大修館書店)、完成古典 (尚文出版)、古文単語301 (尚文出版)

1. 学習の目標

<p>1. 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2. 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文学から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで古典を学習しようとする意欲や態度を持っているか。様々な古典を読むことを通して、人間や社会に対する考え方を深め、自らのものの見方・考え方を広げようとしているか。	授業に積極的に参加し、考えをまとめ、相手にわかるように伝えようとしているか。人の意見を聞き、関心を持って理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことを文章にしてまとめているか。古典に必要な語彙力や文法などを身につけるために、ノートにわかりやすくまとめているか。	古文・漢文の調子を味わいながら聞き、音読が適切にできているか。	古典を読み、疑問や関心を持ったことについて、さらに知識を深めるべく、発展的な学習の努力をしているか。語句の意味・用法を的確に理解し、古典独特の美しい表現を味わおうとしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	国語の学習目標、大学入試についてなど。 古文・漢文の問題の解き方を学ぶ。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『枕草子』この草子、目に見え心に思ふことを	本文の内容を理解する。 古文常識・知識を身につける。 作者と登場人物の関係や、作品成立の背景を理解する。	
		漢文 『史記』風蕭蕭として易水寒し	本文の内容を理解する。 漢文のきまりを確認しながら、正しく読む。 句法を確認する。	
	6	古文 『蜻蛉日記』町の小路の女	本文の内容を理解する。 登場人物の人間関係について理解する。	
	7	漢文 『春夜宴桃李園序』	漢文と日本文学の関係について理解する。 文体の特徴や、句法を理解する。	
9	問題演習	古文・漢文の問題に慣れる。		
	基礎学力到達度テスト対策	古文・漢文の問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績	

	10	<p>古文 『源氏物語』須磨</p> <p>漢文 『老子』小国寡民 『莊子』曳尾於塗中</p> <p>問題演習</p>	<p>本文の内容を正しく読み取り、登場人物の心情を理解する。 和歌に込められた思いを読み取る。</p> <p>古代中国の思想を学ぶ。 表現の特徴や句法を理解する。</p> <p>古文・漢文の問題に慣れる。</p>	<p>提出物 授業中の態度・発言</p>
--	----	---	--	--------------------------

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	4	3年10組

使用教科書	副教材
精選古典B (大修館書店)	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)、新精選古典文法 (東京書籍)、精説漢文 (大修館書店)、プログレス古典総演習完成編 (いづな書店)、古文単語301 (尚文出版)

1. 学習の目標

<p>1. 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2. 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文学から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで古典を学習しようとする意欲や態度を持っているか。様々な古典を読むことを通して、人間や社会に対する考え方を深め、自らのものの見方・考え方を広げようとしているか。	授業に積極的に参加し、考えをまとめ、相手にわかるように伝えようとしているか。人の意見を聞き、関心を持って理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことを文章にしてまとめているか。古典に必要な語彙や文法などを身につけるために、ノートにわかりやすくまとめているか。	古文・漢文の調子を味わいながら聞き、音読が適切にできているか。	古典を読み、疑問や関心を持ったことについて、さらに知識を深めるべく、発展的な学習の努力をしているか。語句の意味・用法を的確に理解し、古典独特の美しい表現を味わおうとしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	国語の学習目標、大学入試についてなど。 古文・漢文の問題の解き方を学ぶ。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『枕草子』この草子、目に見え心に思ふことを	本文の内容を理解する。 古文常識・知識を身につける。 作者と登場人物の関係や、作品成立の背景を理解する。	
		漢文 『史記』風蕭蕭として易水寒し	本文の内容を理解する。 漢文のきまりを確認しながら、正しく読む。 句法を確認する。	
	6	古文 『蜻蛉日記』町の小路の女	本文の内容を理解する。 登場人物の人間関係について理解する。	
	7	漢文 『春夜宴桃李園序』	漢文と日本文学の関係について理解する。 文体の特徴や、句法を理解する。	
9	大学入試問題演習	古文・漢文の入試問題問題に慣れる。		
	基礎学力到達度テスト対策	古文・漢文の問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績	

	10	<p>古文 『源氏物語』須磨</p> <p>漢文 『老子』小国寡民 『莊子』曳尾於塗中</p> <p>大学入試問題問題演習</p>	<p>本文の内容を正しく読み取り、登場人物の心情を理解する。 和歌に込められた思いを読み取る。</p> <p>古代中国の思想を学ぶ。 表現の特徴や句法を理解する。</p> <p>古文・漢文の入試問題に慣れる。</p>	<p>提出物 授業中の態度・発言</p>
--	----	---	--	--------------------------

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	3	3年7組～9組

使用教科書	副教材
精選古典B (大修館書店)	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)、新精選古典文法 (東京書籍)、精説漢文 (大修館書店)、完成古典 (尚文出版)、古文単語301 (尚文出版)

1. 学習の目標

<p>1. 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2. 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文学から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで古典を学習しようとする意欲や態度を持っているか。 様々な古典を読むことを通して、人間や社会に対する考え方を深め、自らのものの見方・考え方を広げようとしているか。	授業に積極的に参加し、考えをまとめ、相手にわかるように伝えようとしているか。 人の意見を聞き、関心を持って理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことを文章にしてまとめているか。 古典に必要な語彙力や文法などを身につけるために、ノートにわかりやすくまとめているか。	古文・漢文の調子を味わいながら聞き、音読が適切にできているか。	古典を読み、疑問や関心を持ったことについて、さらに知識を深めるべく、発展的な学習の努力をしているか。 語句の意味・用法を的確に理解し、古典独特の美しい表現を味わおうとしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	国語の学習目標、大学入試についてなど。 古文・漢文の問題の解き方を学ぶ。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『枕草子』この草子、目に見え心に思ふことを	本文の内容を理解する。 古文常識・知識を身につける。 作者と登場人物の関係や、作品成立の背景を理解する。	
		漢文 『史記』風蕭蕭として易水寒し	本文の内容を理解する。 漢文のきまりを確認しながら、正しく読む。 句法を確認する。	
	6	古文 『蜻蛉日記』町の小路の女	本文の内容を理解する。 登場人物の人間関係について理解する。	
	7	漢文 『春夜宴桃李園序』	漢文と日本文学の関係について理解する。 文体の特徴や、句法を理解する。	
9	問題演習	古文・漢文の問題に慣れる。		
	基礎学力到達度テスト対策	古文・漢文の問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績	



	10	古文 『源氏物語』須磨  漢文 『莊子』曳尾於塗中  問題演習	本文の内容を正しく読み取り、登場人物の心情を理解する。 和歌に込められた思いを読み取る。  古代中国の思想を学ぶ。 表現の特徴や句法を理解する。  古文・漢文の問題に慣れる。	提出物 授業中の態度・発言
--	----	---	---	------------------

※ 上記の内容は，進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	古典B	2	3年12組

使用教科書	副教材
精選古典B (大修館書店)	プレミアムカラー国語便覧 (数研出版)、新精選古典文法 (東京書籍)、精説漢文 (大修館書店)、プログレス古典総演習完成編 (いづな書店)、古文単語301 (尚文出版)

1. 学習の目標

<p>1. 古典としての古文を通して、ものの見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2. 古典としての漢文を学ぶことで、日本文化が漢文学から受けた影響を知り、双方をより深く理解する。</p>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
自ら進んで古典を学習しようとする意欲や態度を持っているか。様々な古典を読むことを通して、人間や社会に対する考え方を深め、自らのものの見方・考え方を広げようとしているか。	授業に積極的に参加し、考えをまとめ、相手にわかるように伝えようとしているか。人の意見を聞き、関心を持って理解しようとしているか。	課題に積極的に取り組み、自ら調べたことを文章にしてまとめているか。古典に必要な語彙や文法などを身につけるために、ノートにわかりやすくまとめているか。	古文・漢文の調子を味わいながら聞き、音読が適切にできているか。	古典を読み、疑問や関心を持ったことについて、さらに知識を深めるべく、発展的な学習の努力をしているか。語句の意味・用法を的確に理解し、古典独特の美しい表現を味わおうとしているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス 基礎学力到達度テスト対策	国語の学習目標、大学入試についてなど。 古文・漢文の問題の解き方を学ぶ。	定期試験の成績 小テストの成績 提出物 授業中の態度・発言
	5	古文 『枕草子』この草子、目に見え心に思ふことを	本文の内容を理解する。 古文常識・知識を身につける。 作者と登場人物の関係や、作品成立の背景を理解する。	
		漢文 『史記』風蕭蕭として易水寒し	本文の内容を理解する。 漢文のきまりを確認しながら、正しく読む。 句法を確認する。	
	6	古文 『蜻蛉日記』町の小路の女	本文の内容を理解する。 登場人物の人間関係について理解する。	
	7	漢文 『春夜宴桃李園序』	漢文と日本文学の関係について理解する。 文体の特徴や、句法を理解する。	
9	問題演習	古文・漢文の問題に慣れる。		
	基礎学力到達度テスト対策	古文・漢文の問題に慣れる。	定期試験の成績 小テストの成績	

	10	古文 『源氏物語』須磨  漢文 『莊子』曳尾於塗中  問題演習	本文の内容を正しく読み取り、登場人物の心情を理解する。 和歌に込められた思いを読み取る。  古代中国の思想を学ぶ。 表現の特徴や句法を理解する。  古文・漢文の問題に慣れる。	提出物 授業中の態度・発言
--	----	---	---	------------------

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語特講Ⅱ	5	3年10組

使用教科書	副教材
『精選 現代文B』教育出版	『大学入学 共通テスト演習 現代文』『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 改訂版』いっずな書店、『改訂版 評論速読トレーニング1500』『プレミアムカラー国語便覧』数研出版、『改訂版 読み・解き・覚える 日本文学史必携』第一学習社

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語句の意味等、知識面の充実を図る。</li> <li>・論理的な読み方を身に付ける。</li> <li>・背景となる思想を理解する。</li> <li>・入試に対応できる力を身に付ける。</li> </ul>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
授業に積極的に参加し、自ら考える姿勢が見られるか。	聞くことにより理解し、理解に対する意見を述べる事ができるか。	情報を正確に取捨選択し、まとめ、適切な日本語表現で伝えることができるか。	論理的に読むことができ、作者の意図を理解することができるか。	豊かで正確な語彙力を理解し、自ら使うことができるか。

3. 学習計画および学習内容等

1	4	基礎学力到達度テスト対策 (問題演習)	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。選択肢の選び方を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>・課題提出状況・内容</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期試験</li> </ul>
	5	共通テスト対策 (問題演習)	評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。選択肢の選び方を身に付ける。	
	6	評論「(私)はどこへ行く？」  共通テスト対策 (問題演習)  文学史	現代社会についての筆者の考えを、文章の構成や展開を確かめながら的確につかむ。 デジタルテクノロジーの発達によって、「私」の捉え方がどう変化しつつあるのかについて、筆者の考えを読み取る。  評論用語を中心に語彙力の充実を図る。 選択肢の選び方を身に付ける。 共通テストレベルの問題に対応できるようにする。  近現代の文学について知る。	
2	9	入試対策 (問題演習)	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。評論用語を中心に語彙力の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>・課題提出状況・内容</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期試験</li> </ul>
	10		小説の読み方を理解し、登場人物の心情を理解する。場面の展開や背景を理解する。	
	11		小説全体のテーマを理解し、作者の意図を理解する。記述問題に対して、適した解答の仕方を理解する。選択肢の選び方を身に付ける。希望大学・私学難関レベルの問題に対応できるようにする。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語特講Ⅲ	4	3年12組

使用教科書	副教材
『精選 現代文B』教育出版	『入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 改訂版』いっぴいな書店

### 1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や語句の意味等、知識面の充実を図る。</li> <li>・論理的な読み方を身に付ける。</li> <li>・背景となる思想を理解する。</li> <li>・入試に対応できる力を身に付ける。</li> </ul>
---

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 話すこと・聞くこと	3. 書くこと	4. 読むこと	5. 知識・理解
授業に積極的に参加し、自ら考える姿勢が見られるか。	聞くことにより理解し、理解に対する意見を述べる事ができるか。	情報を正確に取捨選択し、まとめ、適切な日本語表現で伝えることができるか。	論理的に読むことができ、作者の意図を理解することができるか。	豊かで正確な語彙力を理解し、自ら使うことができるか。

### 3. 学習計画および学習内容等

1	4	問題演習	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。 評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。 100字程度の記述式の問題に慣れる。 文章の要約問題に慣れる。 評論用語を中心に語彙力の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>・課題提出状況・内容</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期試験</li> </ul>
	5			
	6			
	7			
2	9	問題演習	さまざまな文章を読み、論理的な読み方を身に付ける。 評論で扱われるテーマの背景を理解し、広い教養を身に付ける。 100字程度の記述式の問題に慣れる。 文章の要約問題に慣れる。 評論用語を中心に語彙力の充実を図る。 難関私大、国公立の過去問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み (態度・発言・予習)</li> <li>・課題提出状況・内容</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期試験</li> </ul>
	10			
	11			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史B	3	3年12組

使用教科書	副教材
詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	グローバルワイド 最新世界史図表 (第一学習社) 世界史用語集 改訂版 (山川出版社) 山川 一問一答世界史 第2版 (山川出版社) 山川出版社 センター形式 世界史問題集

1. 学習の目標

古代から近現代までの世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第8章：近世ヨーロッパ世界の形成 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革	新航路開拓でポルトガル・スペインが発展したことを理解する。 欧州のみならず、世界各地で生じた社会変容を理解する。 ヒューマニズムについて理解する。 権利の伸長を求めた市民階級存在と宗教改革の関連を理解する。	
		・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解する。 プロシヤの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解する。	
	5	第9章：ヨーロッパ主権国家体制の展開 ・重商主義と啓蒙思想 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18世紀ヨーロッパ文化	海外植民地経営の活発化と主権国家体制の確立を理解する。 西欧諸国の近代化と、東欧の啓蒙専制国家の政策を理解する。 18世紀ヨーロッパ社会と文化を理解する。 英仏の覇権争いを整理する。また、植民地や奴隷供給地とされた地域の状況にも注目する。 科学革命の意義と近代社会に影響を与えた諸思想について理解する。 <上記内容は課題・動画による配信で対応する>	
	6	第10章：近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	産業革命の背景と影響について、世界経済的視野から考察する。また、新たに発生した諸問題にも注目する。 近代民主政治の出発点としてアメリカ独立の世界史的意義を理解する。 フランス革命による国民国家の原則の確立を理解する。	

2	7	<p>第 11 章:欧米における近代国民国家の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーン体制</li> <li>・ヨーロッパの再編</li> <li>・アメリカ合衆国の発展</li> <li>・19C 欧米の文化</li> </ul>	<p>ナショナリズムの高揚や社会主義思想の出現という時代状況を認識し、19 世紀前半の革命運動の展開を整理する。イタリア・ドイツの統一、南北戦争など国民国家の発展を軸に、19 世紀後半の欧米諸国の動向について理解する。ヨーロッパ諸国のアフリカ侵略や合衆国のカリブ海政策など、欧米列強による世界秩序形成の様相について理解する。</p>	授業態度・小テスト・定期試験を総合的に評価
	9	<p>第 12 章:アジア諸地域の動揺</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オスマン帝国支配の動揺とアラブの目覚</li> <li>・南アジア・東南アジアの植民地化</li> <li>・東アジアの激動</li> </ul>	<p>イスラーム世界の改革運動について、西欧化、民族意識の高揚、イスラーム改革運動など諸側面を意識しながら理解する。ヨーロッパ列強による植民地化の拡大と社会の変化、各地での民族意識の高まりについて理解する。アヘン戦争から辛亥革命に至る経緯について、旧体制温存と変革、近代化と排外主義など対立要素を整理して把握する。</p>	
	10	<p>第 13 章: 帝国主義とアジアの民族運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義と列強展開</li> <li>・世界分割と列強対立</li> <li>・アジアの改革と民族運動</li> </ul>	<p>欧米列強による世界秩序形成の様相について理解する。19 世紀以降のヨーロッパ各国の帝国主義的植民地政策が、弱体化したオスマン帝国支配下のバルカン半島で衝突する背景を理解する。</p>	
	11	<p>第 14 章: 二つの世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦とロシア革命</li> <li>・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</li> <li>・アジア・アフリカの民族主義の進展</li> <li>・世界恐慌とファシズム諸国の侵略</li> <li>・第二次世界大戦</li> </ul>	<p>背景としての国際的な対立関係の動向、総力戦としての大戦的な性格、大戦終結に至る経緯を把握する。ロシア革命の世界史的意義や、ヴェルサイユ・ワシントン両体制における国際協調の成果と限界について考察する。アジア・アフリカでの独立運動や国家形成の動きにおいて、国民国家の理念が果たした役割と問題点について考察する。世界恐慌によって国際協調主義から自国中心主義にかわり、第二次世界大戦に至る対立状況が生まれたことを認識する。緒戦における枢軸国軍の勢力拡大と占領地における抵抗、連合国軍による反撃と終戦にいたる経緯について理解する。</p>	授業態度・小テスト・定期試験を総合的に評価
12	<p>第 15 章: 冷戦と第三世界成立</p> <p>第 16 章: 現在の世界</p>	<p>米ソ二極化による東西冷戦構造と、第三勢力の台頭を理解する。</p> <p>冷戦の解消過程と世界の多極化、第三世界の多元化や地域紛争など、現代社会が抱える問題について理解する。</p> <p>《以下は特別授業で実施》</p>		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	日本史B	3	3年12組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『詳録新日本史史料集成』(第一学習社) 『最新日本史図表』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社) 『改訂版重要問題演習日本史B』(数研出版)

### 1. 学習の目標

日本史A及びB、日本史研究との連携で日本史に関する知識を深めるため、基本的な「学習の目標」は不変である。我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	7章 幕藩体制の展開 2, 経済の発展 3, 元禄文化	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎え、町人の経済的・文化的活動を活発化させ、元禄文化を開花させていった国内情勢を捉える。	動画視聴 課題提出
	5	8章 幕藩体制の動揺 1, 幕政の改革 2, 幕府の衰退 3, 化政文化	・18世紀から19世紀にかけて、商人の台頭が目立つ一方で、農村の本百姓体制が崩壊し、幕藩体制の動揺が顕著になっていった様子を理解する。 ・幕府による諸改革にも関わらず国内情勢の悪化が深刻化し、19世紀に内憂外患が頂点に達して幕威が低下する様子を理解するとともに、その一方で政治・社会・文化など多くの面で近代への胎動が強まる様子を指摘する。	
	6	問題演習 (一般対策)	・問題集を使用し、問題演習および解説等により、復習する。	
2	7			授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	9			
	10			
	11			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。



教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史研究	5	3年2・3・6組

使用教科書	副教材
詳説 世界史B 改訂版(山川出版社)	第一学習社 グローバルワイド最新世界史図表 山川出版社 センター形式世界史問題集 山川出版社 世界史B用語集 改訂版 山川出版社 一問一答世界史B 第2版

### 1. 学習の目標

古代から近現代までの世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第8章：近世ヨーロッパ世界の形成 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革  ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	・新航路開拓でポルトガル・スペインが発展したことを理解する。 ・欧州のみならず、世界各地で生じた社会変容を理解する。 ・ヒューマニズムについて理解する。 ・権利の伸長を求めた市民階級が存在と宗教改革の関連を理解する。 ・オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解する。 ・プロシヤの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解する。	授業態度・小テスト・木1テスト・定期試験を総合的に評価
	5	第9章：ヨーロッパ主権国家体制の展開 ・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18Cのヨーロッパ文化	海外植民地経営の活発化と主権国家体制の確立を理解する。西欧諸国の近代化と、東欧の啓蒙専制国家の政策を理解する。 18世紀ヨーロッパ社会と文化を理解する。 英仏の覇権争いを整理する。また、植民地や奴隷供給地とされた地域の状況にも注目する。  <上記内容は課題・動画による配信で対応する>	
	6	第10章 欧米における近代社会の成長 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン  第11章 欧米における近代国民国家の発展 ・ウィーン体制 ・ヨーロッパの再編	産業革命の背景と影響について、世界経済的視野から考察する。また、新たに発生した諸問題にも注目する。 近代民主政治の出発点としてアメリカ独立の世界史的意義を理解する。 フランス革命による国民国家の原則の確立を理解する。  ナショナリズムの高揚や社会主義思想の出現という時代状況を認識し、19世紀前半の革命運動の展開を整理する。 イタリア・ドイツの統一、南北戦争など国民国家の発展を軸に、19世紀後半の欧米諸国の動向について理解する。	

2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国の発展</li> <li>・19C欧米の文化</li> </ul> <p>第12章 アジア諸地域の動揺</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オスマン帝国支配の動揺とアラブの目覚</li> <li>・南アジア・東南アジアの植民地化</li> <li>・東アジアの激動</li> </ul> <p>問題演習</p>	<p>ヨーロッパ諸国のアフリカ侵略や合衆国のカリブ海政策など、欧米列強による世界秩序形成の様相について理解する。</p> <p>イスラーム世界の改革運動について、西欧化、民族意識の高揚、イスラーム改革運動など諸側面を意識しながら理解する。</p> <p>ヨーロッパ列強による植民地化の拡大と社会の変化、各地での民族意識の高まりについて理解する。</p> <p>アヘン戦争から辛亥革命に至る経緯について、旧体制温存と変革、近代化と排外主義など対立要素を整理して把握する。</p> <p>各時代・地域の出来事を関連させて入試問題を解く力を身につける。</p>	授業態度・小テスト・木1テスト・定期試験を総合的に評価
	10	<p>第13章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>第14章 二つの世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦とロシア革命</li> <li>・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</li> <li>・アジア・アフリカの民族主義の進展</li> <li>・世界恐慌とファシズム諸国の侵略</li> <li>・第二次世界大戦</li> </ul>	<p>欧米列強による世界秩序形成の様相について理解する。</p> <p>19世紀以降のヨーロッパ各国の帝国主義的植民地政策が、弱体化したオスマン帝国支配下のバルカン半島で衝突する背景を理解する。</p> <p>背景としての国際的な対立関係の動向、総力戦としての大戦的な性格、大戦終結に至る経緯を把握する。</p> <p>ロシア革命の世界史的意義や、ヴェルサイユ・ワシントン両体制における国際協調の成果と限界について考察する。</p> <p>大戦後の欧米各国の社会状況を把握し、現代社会につながる大衆社会が出現したことの意味について考察する。</p> <p>アジア・アフリカでの独立運動や国家形成の動きにおいて、国民国家の理念が果たした役割と問題点について考察する。</p> <p>世界恐慌によって国際協調主義から自国中心主義となり、第二次世界大戦に至る対立状況が生まれたことを認識する。</p> <p>緒戦における枢軸国軍の勢力拡大と占領地における抵抗、連合国軍による反撃と終戦にいたる経緯について理解する。</p> <p>〈以下は特別授業で実施〉</p>	
	11	<p>第15章 冷戦と第三世界自立</p>	<p>米ソ二極化による東西冷戦構造と、第三勢力の台頭を理解する。</p>	
	12	<p>第16章 現代の世界</p>	<p>冷戦の解消過程と世界の多極化、第三世界の多元化や地域紛争など、現代社会が抱える問題について理解する。</p>	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史研究	5	3年10組

使用教科書	副教材
詳説 世界史B 改訂版(山川出版社)	第一学習社 グローバルワイド最新世界史図表 山川出版社 センター形式世界史問題集 山川出版社 世界史B用語集 改訂版 山川出版社 一問一答世界史B 第2版

### 1. 学習の目標

古代から近現代までの世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第8章：近世ヨーロッパ世界の形成 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革  ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	・新航路開拓でポルトガル・スペインが発展したことを理解する。 ・欧州のみならず、世界各地で生じた社会変容を理解する。 ・ヒューマニズムについて理解する。 ・権利の伸長を求めた市民階級が存在と宗教改革の関連を理解する。 ・オランダの覇権と英仏の台頭を中心に、17世紀の西欧について理解する。 ・プロシヤの強国化やロシアの台頭の課程とその影響について、当時の国際関係をふまえて理解する。	授業態度・小テスト・木1テスト・定期試験を総合的に評価
	5	第9章：ヨーロッパ主権国家体制の展開 ・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18Cのヨーロッパ文化	海外植民地経営の活発化と主権国家体制の確立を理解する。 西欧諸国の近代化と、東欧の啓蒙専制国家の政策を理解する。 18世紀ヨーロッパ社会と文化を理解する。 英仏の覇権争いを整理する。また、植民地や奴隷供給地とされた地域の状況にも注目する。  <上記内容は課題・動画による配信で対応する>	
	6	第10章 欧米における近代社会の成長 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン  第11章 欧米における近代国民国家の発展 ・ウィーン体制 ・ヨーロッパの再編	産業革命の背景と影響について、世界経済的視野から考察する。また、新たに発生した諸問題にも注目する。 近代民主政治の出発点としてアメリカ独立の世界史的意義を理解する。 フランス革命による国民国家の原則の確立を理解する。  ナショナリズムの高揚や社会主義思想の出現という時代状況を認識し、19世紀前半の革命運動の展開を整理する。 イタリア・ドイツの統一、南北戦争など国民国家の発展を軸に、19世紀後半の欧米諸国の動向について理解する。	

2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ合衆国の発展</li> <li>・19C欧米の文化</li> </ul> <p>第12章 アジア諸地域の動揺</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オスマン帝国支配の動揺とアラブの目覚</li> <li>・南アジア・東南アジアの植民地化</li> <li>・東アジアの激動</li> </ul> <p>問題演習</p>	<p>ヨーロッパ諸国のアフリカ侵略や合衆国のカリブ海政策など、欧米列強による世界秩序形成の様相について理解する。</p> <p>イスラーム世界の改革運動について、西欧化、民族意識の高揚、イスラーム改革運動など諸側面を意識しながら理解する。</p> <p>ヨーロッパ列強による植民地化の拡大と社会の変化、各地での民族意識の高まりについて理解する。</p> <p>アヘン戦争から辛亥革命に至る経緯について、旧体制温存と変革、近代化と排外主義など対立要素を整理して把握する。</p> <p>各時代・地域の出来事に関連させて入試問題を解く力を身につける。</p>	授業態度・小テスト・木1テスト・定期試験を総合的に評価
	10	<p>第13章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>第14章 二つの世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦とロシア革命</li> <li>・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</li> <li>・アジア・アフリカの民族主義の進展</li> <li>・世界恐慌とファシズム諸国の侵略</li> <li>・第二次世界大戦</li> </ul>	<p>欧米列強による世界秩序形成の様相について理解する。</p> <p>19世紀以降のヨーロッパ各国の帝国主義的植民地政策が、弱体化したオスマン帝国支配下のバルカン半島で衝突する背景を理解する。</p> <p>背景としての国際的な対立関係の動向、総力戦としての大戦的性格、大戦終結に至る経緯を把握する。</p> <p>ロシア革命の世界史的意義や、ヴェルサイユ・ワシントン両体制における国際協調の成果と限界について考察する。</p> <p>大戦後の欧米各国の社会状況を把握し、現代社会につながる大衆社会が出現したことの意味について考察する。</p> <p>アジア・アフリカでの独立運動や国家形成の動きにおいて、国民国家の理念が果たした役割と問題点について考察する。</p> <p>世界恐慌によって国際協調主義から自国中心主義となり、第二次世界大戦に至る対立状況が生まれたことを認識する。</p> <p>緒戦における枢軸国軍の勢力拡大と占領地における抵抗、連合国軍による反撃と終戦にいたる経緯について理解する。</p> <p>《以下は特別授業で実施》</p>	
	11	<p>第15章 冷戦と第三世界自立</p>	<p>米ソ二極化による東西冷戦構造と、第三勢力の台頭を理解する。</p>	
	12	<p>第16章 現代の世界</p>	<p>冷戦の解消過程と世界の多極化、第三世界の多元化や地域紛争など、現代社会が抱える問題について理解する。</p>	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	日本史研究	5	3年1・3・4・5・6組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『詳録新日本史史料集成』(第一学習社) 『最新日本史図表』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社) 『4ステージ演習ノート日本史B』(数研出版)

1. 学習の目標

日本史A及びB、日本史研究との連携で日本史に関する知識を深めるため、基本的な「学習の目標」は不変である。我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	7章 幕藩体制の展開 2, 経済の発展 3, 元禄文化	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎え、町人の経済的・文化的活動を活発化させ、元禄文化を開花させていった国内情勢を捉える。	動画視聴 課題提出
	5	8章 幕藩体制の動揺 1, 幕政の改革 2, 幕府の衰退 3, 化政文化	・18世紀から19世紀にかけて、商人の台頭が目立つ一方で、農村の本百姓体制が崩壊し、幕藩体制の動揺が顕著になっていった様子を理解する。 ・幕府による諸改革にも関わらず国内情勢の悪化が深刻化し、19世紀に内憂外患が頂点に達して幕威が低下する様子を理解するとともに、その一方で政治・社会・文化など多くの面で近代への胎動が強まる様子を指摘する。	
	6	古代～近世の復習 (基礎学力到達度テスト対策)	・動画視聴を含めた講義形式および問題演習・解説等により基礎学力到達度テストの出題範囲を復習する。	
2	7			授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	9	(基礎学力到達度到達度テスト後)		
	10	近現代史の概説		
	11			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	日本史研究	5	3年10組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『詳録新日本史史料集成』(第一学習社) 『最新日本史図表』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社) 『改訂版重要問題演習日本史B』(数研出版)

1. 学習の目標

日本史A及びB、日本史研究との連携で日本史に関する知識を深めるため、基本的な「学習の目標」は不変である。我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	7章 幕藩体制の展開 2, 経済の発展 3, 元禄文化	・寛永期を画期として幕政が安定期を迎え、町人の経済的・文化的活動を活発化させ、元禄文化を開花させていった国内情勢を捉える。	動画視聴 課題提出
	5	8章 幕藩体制の動揺 1, 幕政の改革 2, 幕府の衰退 3, 化政文化	・18世紀から19世紀にかけて、商人の台頭が目立つ一方で、農村の本百姓体制が崩壊し、幕藩体制の動揺が顕著になっていった様子を理解する。 ・幕府による諸改革にも関わらず国内情勢の悪化が深刻化し、19世紀に内憂外患が頂点に達して幕威が低下する様子を理解するとともに、その一方で政治・社会・文化など多くの面で近代への胎動が強まる様子を指摘する。	
	6	問題演習 (一般対策)	・問題集を使用し、問題演習および解説等により、復習する。	
2	7			授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	9			
	10			
	11			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民科	地理研究	5	高3年1, 5・6組

使用教科書	副教材
帝国書院「高等学校新地理A」 帝国書院「新詳地理B」 帝国書院「新詳高等地図」	第一学習社「最新地理図表GEO：初訂版」 二宮書店「データブックオブザワールド vol. 32：2020」 二宮書店「完全マスター地理B問題集：改訂版」

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地誌的内容を学習することにより、これまでの系統的内容を復習しながら地域に根ざした内容を理解する。</li> <li>・問題演習を通してこれまでの学習内容を理解し直し、ポイントをつかんだ学習を目指す。</li> <li>・問題集を偶数・奇数に分けることによって特定の分野に偏らない学習を心がける。</li> </ul>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の特徴を学び、地球の姿を理解する。	各地が密接に連携しあって今日の生活が成立していることを考察する。	様々な図表、写真、新聞記事を扱うことで表現方法や読解力、理解力を高める。	世界各地の姿や各地域で暮らす人々を学ぶことで世界の将来を考える。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ロシアとその周辺 (地誌)	ロシアとその周辺諸国を、位置・自然・農牧業・資源・貿易・国家群等を通して理解する。	定期試験(期末) 木1テスト 基礎学力到達度模試 授業態度 (意欲・態度・発言など) をもとに総合的に評価する。
	5		※一部、動画配信で対応	
	6	問題演習(偶数中心) Ⅰ：系統地理 Ⅱ：世界地誌	各項目について、これまでの内容を結びつけて大学入試問題を解く力を身につける。	
	7		※一部、動画配信で対応	
2	9	系統分野総復習	1年～2年中盤までの内容を総復習することによって、問題演習の理解度をより高める。	定期試験(期末) 木1テスト 基礎学力到達度模試 授業態度 (意欲・態度・発言など) をもとに総合的に評価する。
		地形図の読解	実際の地形図を手にして、縮尺・地図記号・等高線などの基本事項をもとに地図を読む力を身につける。	
		地図投影法	球体の地球を平面に表現する方法を紹介し、用途によって使用する図法が異なることを理解する。	
	(基礎学力到達度テスト)			
	10	NIE (教育に新聞を)	最近の新聞から地理に関する記事を提示することで、地理で学ぶ幅広さ、奥深さを理解し、地理は生活に根ざした内容であることを理解する。 高校で学んだ事柄が身の回りで実際に起こっていることを理解し、新聞の有用性を理解する。 限られたスペースで簡潔にまとめられている新聞記事を読むことで文章理解力を身につけ、論理的な思考力や偏らない発想力を養う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史応用	4	3年10組

使用教科書	副教材
詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社)	第一学習社 グローバルワイド最新世界史図表 山川出版社 センター形式 世界史問題集 山川出版社 世界史B用語集 改訂版 山川出版社 一問一答世界史 第2版

1. 学習の目標

古代から近現代までの世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	図版や地図を通して各地の世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	問題演習一通史	学習内容の復習により、重要用語や年代の確認ができるようにする。問題集を使用して、基本的な用語や事件名が理解できているかを確認する。大学入学共通テストなどを想定した正誤形式問題に慣れるようにする。 課題・動画による配信で対応する	授業態度・課題・定期試験等を総合的に評価
		古代オリエント 古代ギリシア 古代ローマ		
	5	イラン世界 インド世界 古代中国～明清 近世ヨーロッパ		
	6 7	イスラーム世界 東南アジア 古アメリカ 中世ヨーロッパ		
2	9	近代ヨーロッパ 近代アジア・アフリカ	各大学の過去問題を実際に利用して、大学の問題傾向に慣れるようにする。 論述形式の問題への対応のため、論理的な思考を涵養する。	授業態度・課題・定期試験等を総合的に評価
	10	帝国主義～第二次大戦		
	11	テーマ史演習 過去問研究		
	12			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。



教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	日本史応用	4	3年10組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『詳録新日本史史料集成』(第一学習社) 『最新日本史図表』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社) 『改訂版重要問題演習日本史B』(数研出版)

1. 学習の目標

日本史A及びB、日本史研究との連携で日本史に関する知識を深めるため、基本的な「学習の目標」は不変である。我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考える。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察することによって歴史の見方・考え方を身につけ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	9章近代国家の成立 1, 開国と幕末の動乱 2, 明治維新と富国強兵 3, 立憲国家の成立と日清戦争 4, 日露戦争と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治維新の前提として、1853年のペリー来航以後の内外情勢を捉える。</li> <li>明治の前半期として、明治初年の維新期に近代化の諸改革を遂行し、続いて立憲体制の樹立に努めた国内情勢を理解する。</li> </ul>	動画視聴 課題提出
	5	5, 近代産業の発展 6, 近代文化の発達 10章近代日本とアジア 1, 第一次世界大戦と日本 2, ワシントン体制 3, 市民文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正期に入り、日本が帝国主義列強の一員として国際政局に登場した概要を理解する。</li> <li>第一次世界大戦、満州事変、日中戦争、第二次世界大戦、太平洋戦争と、戦争の道を進む状況を理解するとともに、この間の大正デモクラシーといった文化的特徴にも留意する。</li> </ul>	
	6	4, 恐慌の時代 5, 軍部の台頭 6, 第二次世界大戦 11章占領下の日本 1, 占領と改革 2, 冷戦の開始と講和 12章高度成長の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争の敗北によって、日本は史上初めて外国軍隊に占領されたが、その後の占領期の民主化政策と1950年代の独立回復の動きを考える。</li> <li>独立後、経済・文化国家としての道を歩み、1960年代に高度経済成長を達成する日本の経済復興を世界的な視野から理解</li> </ul>	

2		1, 5 5年体制 2, 経済復興から高度成長へ	する。  ・1970年代から80年代にかけて経済大国として成長する日本の様子と、1990年代の現代、冷戦終結という新しい情勢の下で流動する内外情勢を分析する。	授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	7	1 3章激動する世界と日本		
	9	1, 経済大国への道 2, 冷戦終結と日本社会の動揺		
	10	問題演習		
	11	(一般対策)		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	倫理研究	2	3年5、6組

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版)	『テオリア最新倫理資料集二訂版』(第一学習社) 『ウイニングコンパス倫理・政経/現社の整理と演習』(とうほう)

1. 学習の目標

人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいたか。	取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解することができたか。	学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができたか。	政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけることが出来たか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(動画配信授業) 第3章 第3節 近世日本の思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の既習事項を踏まえて、封建社会の思想として受容されてきた、儒教、朱子学、陽明学、国学について学び、当時の社会にどのように利用されていたかを理解する。</li> <li>・幕末には洋学の影響も見られたことを理解する。</li> </ul>	定期試験 授業態度による
	5	(動画配信授業) 第4節 西洋思想の受容と展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓蒙思想家の台頭で、いわゆる文明開化の方向へ日本が導かれ、自由民権運動への多大な影響を残したことを理解する。</li> </ul>	
	6 7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治末から昭和にかけて、独創的な思想や学問が形成された。西洋思想の上に東洋思想を導入した独自の思想や、民俗学などの新しい学問分野など多岐にわたる思想を学ぶ。また、満州事変を契機とした国家主義の影響の強まりや、社会主義・自由主義的思想を学ぶ。これらを通じて、自己の進むべき道について考察できる思考力を養う。</li> </ul>	
2	9 10 11 12 1 2 3	総復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習してきた内容のまとめ。問題演習を通しての知識の定着。基礎学力到達度テストや一般受験への対応を見据え、学力を向上する。</li> </ul>	定期試験 授業態度による

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	政治経済研究	3	3年5、6組

使用教科書	副教材
『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『政治・経済資料2019』(とうほう) 『ウイニングコンパス倫理・政経/現社の整理と演習』(とうほう)

1. 学習の目標

<p>1. 民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解する。</p> <p>2. 現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。</p> <p>3. 1・2の理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育成する。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
<p>・現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高めていくとともに、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。</p>	<p>・現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。</p>	<p>・現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。</p>	<p>・現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。</p>

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(動画配信授業) 第2編 第1章 現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の地位と役割を理解し、日本経済における起爆剤となりうる可能性を示唆するとともに、資料等を用いて、現状の課題についても認識する。</li> <li>・これまでの日本の農業問題についての歴史を振りかえり、置かれている立場について課題を提起できる視点を持たせる。近年の農業の在り方についても学習し、将来における打開策を検討する。</li> <li>・近年、「働き方改革」が叫ばれる中で、日本国民の労働に関する現状を把握する。</li> <li>・大きな政府と小さな政府、住民生活と地方自治、情報化、少子高齢化と社会保障、労使関係と労働市場、消費者問題、農業・食料問題について学び、今後の課題について考える。</li> </ul>	定期試験 授業態度による
	5	(動画配信授業)		
	6	第2章 現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人種、民族問題と国際紛争、などを学び、国際社会において日本の担う役割について意識しながら考察する。</li> </ul>	
	7	第1編 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の平和主義が、世界的に見ても徹底されている内容であることを留意し、日本国民として、世界の平和にどのように寄与できるか模索する。</li> <li>・基本的人権の内容、新しい人権の内容に触れ、過去の判例を</li> </ul>	

2	9		<p>用いながら理解を深めていく。また、自衛隊の活動や、国際協調について学び、今後の我が国の安全保障の課題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国会、内閣、裁判所のしくみを学び、現代の政治的な事象と関係性を持たせながら、社会全体における事象に興味を持つ。</li> <li>• 55年体制など、戦後の政党の動向を見ながら、現代の日本の政治についても概観し、理解する。</li> <li>• 選挙制度の種類や特徴に触れ、民主主義における国民の大切な権利である参政権を公正なものとするための施策についても思いを巡らせる。また、18歳選挙権についての議論も展開する。</li> </ul>	定期試験 授業態度による
	10			
	11			
	12			
	1			
	2 3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	倫理政経	3	3年12組

使用教科書	副教材
『高校倫理 新訂版』(実教出版) 『改訂版 政治・経済』(数研出版)	『テオリア倫理資料集 新版初訂』(第一学習社) 『政治・経済 資料 2019』(とうほう) 『ウイニングコンパス 倫理・政経/現社の整理と演習』 (とうほう)

### 1. 学習の目標

<p>人間尊重と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p> <p>1. 民主主義の本質について理解を深めるとともに、理論的・体系的に理解する。</p> <p>2. 現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解する。</p> <p>3. 1・2の理解を踏まえて現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育成する。</p>
---

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
<p>思想に対する関心や、意欲を高めることができたか。意欲的に学習課題に取り組んでいたか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に対して関心を高め、意欲的に課題を追究し、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進を図るため客観的に考察しようとしている。</p>	<p>取り上げた先哲を、歴史的状況の中で理解することができたか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題を発見し、その本質や特質、さらには望ましい解決の在り方について広い視野に立ち、多面的・多角的に考察するとともに、様々な立場を踏まえて公正な判断をしている。</p>	<p>学習の中で追求し、考察した過程や結果について、適切に表現する方法を身につけることができたか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。</p>	<p>政治・経済・社会・生活など様々な観点から歴史的事象を理解し、その知識を身につけることが出来たか。</p> <p>現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を様々なメディアにより収集し、有用な情報を主体的に選択・活用するとともに、それを追究していく過程や結果について様々な方法を駆使して適切に表現していくことができる。</p>

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	(動画配信授業) 社会と個人 人間への新たな問い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の中の個人の主体性についての思想を理解する</li> <li>・第二次世界大戦が終結し、核兵器による破滅の機器や地球規模の環境破壊など、20世紀には新たな問題が次々と浮上した。そうしたなか誕生した、近代の人間中心主義を根本的に反省し、改めて人間の現実をみつめなおした思想を理解する。</li> </ul>	定期試験 授業態度による
	5	(動画配信授業) 社会参加と幸福	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20世紀に入り、人間中心主義的な世界観の転換期を迎え、新たな人間観を再構築していくという大きな流れを理解する。具体的には、精神分析学、構造主義、フランクフルト学派を学んでいく。</li> </ul>	
	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・20世紀になると、生命への畏敬を取り戻し、すべてを同胞として連帯し、共生していく社会を目指す思想が現れたことを把握し、人や生命が互いに幸福であるということはどういうことなのかをガンジーの思想やマザー＝テレサの行動などから考える。</li> </ul>	
	7	中国思想  近世日本の思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国思想の展開とその広がりについて学ぶ。</li> <li>・中国先達達の生き方・考え方を手掛かりに、自分の人生への関心を高めてゆく。</li> <li>・2年次の既習事項を踏まえて、封建社会の思想として受容されてきた、儒教、朱子学、陽明学、国学について学び、当時</li> </ul>	

2	9	西洋思想の受容と展開	<p>の社会にどのように利用されていたかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕末には洋学の影響も見られたことを理解する。</li> <li>・啓蒙思想家の台頭で、いわゆる文明開化の方向へ日本が導かれ、自由民権運動への多大な影響を残したことを理解する。</li> <li>・明治末から昭和にかけて、独創的な思想や学問が形成された西洋思想の上に東洋思想を導入した独自の思想や、民俗学などの新しい学問分野など多岐にわたる思想を学ぶ。また、満州事変を契機とした国家主義の影響の強まりや、社会主義・自由主義的思想を学ぶ。これらを通じて、自己の進むべき道について考察できる思考力を養う。</li> </ul>	定期試験 授業態度による
10	国民経済と国際経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代国際社会の成立後、国際分業が進み近代的金融制度が国際的に定着し外国為替手形で行われていることを理解する。</li> <li>・基本的人権の内容、新しい人権の内容に触れ、過去の判例を用いながら理解を深める。</li> </ul>		
11	民主政治の基本原則と日本国憲法  現代の国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・55年体制など、戦後の政党の動向を見ながら、現代の日本の政治についても概観し、理解する。</li> <li>・選挙制度の種類や特徴に触れ、民主主義における国民の大切な権利である参政権を公正なものとするための施策についても思いを巡らせる。また、18歳選挙権についての議論も展開する。</li> <li>・人種、民族問題と国際紛争、などを学び、国際社会において日本の担う役割について意識しながら考察する。</li> </ul>		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅱ	3	3年1～6組

使用教科書	副教材
数学Ⅰ, 数学Ⅱ (数研出版)	ニューステージ数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 受験編(数研出版)

1. 学習の目標

数学Ⅰ, Ⅱの内容の考えについて理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用できるようにする。基礎学力到達度テストや大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して, 数学Ⅰ, Ⅱにおける考え方や体系に関心をもつとともに, 数学のよさを認識し, それらを事象の考察に進んで活用する。	数学的活動を通して, 数学Ⅰ, Ⅱの考えにおける見方や考え方を身に付け, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学Ⅰ, Ⅱの考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 処理する方法や表現の仕方, 推論の方法を身に付け, よりよく問題を解決する。	数学Ⅰ, Ⅱの考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法			
1	4 5 6	数と式	数学ⅠⅡの内容について, ニューステージの問題を課題として提示, NF-online で動画配信をし, 生徒は視聴し学習をする。 1. 式の計算 (1) 2. 式の計算 (2) 3. 1次不等式 4. 集合 5. 命題と論証 6. 2次関数 7. 2次関数の最大・最小 8. 2次方程式と2次不等式	定期試験の成績 授業態度 小テスト 提出物 等			
					7	集合と命題	9. 三角比の基本 10. 三角比と図形 (1) 11. 三角比と図形 (2)
						2次関数	12. データの代表値と散らばり 13. データの相関
	図形と計量	24. 式と証明 25. 複素数と方程式 (1) 26. 複素数と方程式 (2)					
	7	データの分析	27. 点・直線・円 28. 曲線と直線 29. 軌跡と領域	期末試験			
		式と証明 複素数と方程式	30. 三角関数 (1) 31. 三角関数 (2)				
		図形と方程式	32. 指数関数 33. 対数関数				
		三角関数	※予定は都合により変更される場合があります。				
	2	9 10	指数関数と対数関数	基礎学力到達度テストまで対策プリント演習 問題演習等	期末試験		

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。



教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅲ	5	3年7・8・9組

使用教科書	副教材
数学Ⅲ (数研出版)	サクシード数学Ⅲ (数研出版) はぎ取り式 練習ドリル数学Ⅲ標準編 (数研出版)

1. 学習の目標

微分法、微分法の応用、積分法、積分法の応用について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。  
また大学入試の頻出問題の演習を通して、基礎学力到達度テストでの高得点や難関大学合格に向けて学力を高める。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第2章式と曲線	数学Ⅲの次の内容を教科書中心にClassi, NF-onlineで動画配信をし、生徒は視聴して、学習をする。 第2章 極座標と極方程式、第4章 関数の連続性 第5章 微分法	定期試験・小テストの結果、授業態度、提出物等
	5	第4章極限		
	6	第5章微分法		
		第6章微分法の応用 1節導関数の応用	微分係数と導関数、導関数の計算、いろいろな関数の導関数、第n次導関数、関数のいろいろな表し方と導関数 接線と法線、平均値の定理、関数の値の変化、関数の最大と最小、関数のグラフ、方程式、不等式への応用	期末試験
7	2節速度と近似式	速度と加速度、近似式		
2	9	第7章積分法 1節不定積分	不定積分とその基本性質、置換積分法、部分積分法、いろいろな関数の不定積分	学年末試験
		2節定積分	定積分とその基本性質、定積分の置換積分法、定積分の部分積分法、定積分の種々の問題	
	10	第8章積分法の応用	面積、体積、曲線の長さ、速度と道のり  大学入試対策演習 ※他、基礎学力到達度テストの実施に合わせて対策を行う	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学Ⅲ	5	3年11組

使用教科書	副教材
数学Ⅲ (数研出版)	サクシード 数学Ⅲ (数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅲ (数研出版) クリアー数学演習Ⅲ受験編 (数研出版)

1. 学習の目標

積分法、積分法の応用について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。  
また大学入試の頻出問題の演習を通して、難関大学合格への学力を高める。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識し考察に活用しようとする。	数学的な見方や考え方を身につけ、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	対象となる事柄を数学的に考察し、表現あるいは処理の仕方や推論の方法を身につけ問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、もしくは、用語・記号などの意味を理解し、基礎的な知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6	第6章 微分の応用 第1節 導関数の応用 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大と最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式、不等式への応用 第2節 速度と近似式 7. 速度と加速度 8. 近似式	数学Ⅲの内容について、教科書の問題を課題として提示、NF-online で動画配信をし、生徒は視聴して学習をする。  関数の増加と減少、関数の極大と極小  曲線の凹凸、関数のグラフの概形、第2次導関数と極値 不等式の証明、方程式の実数解の個数  直線上の点の運動、平面上の点の運動	定期試験 小テスト 授業態度 提出物等
	7	第7章 積分法 第1節 不定積分 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな関数の不定積分 第2節 定積分 5. 定積分とその基本性質 6. 定積分の置換積分法 7. 定積分の部分積分法 8. 定積分の種々の問題	不定積分、不定積分の基本性質、三角関数、指数関数の不定積分 $f(ax+b)$ の不定積分、置換積分法、 $f(g(x))g'(x)$ の不定積分、 $g'(x)/g(x)$ の不定積分  分数関数の不定積分、三角関数に関する不定積分  定積分、定積分の性質、絶対値のついた関数の定積分  定積分の置換積分法、偶関数、奇関数の定積分  定積分で表された関数、定積分と和の極限、定積分と不等式	

2	9          10	第8章 積分法の応用 1. 面積 2. 体積 3. 曲線の長さ 4. 速度と道のり	曲線 $y=f(x)$ で定まる図形の面積, 曲線 $x=g(y)$ で定まる図形の面積, 曲線で囲まれた図形の面積, 媒介変数表示と面積 定積分と体積, 回転体の体積 媒介変数表示された曲線の長さ, 曲線 $y=f(x)$ の長さ 直線上を運動する点の道のり, 平面上を運動する点の道のり  一般入試に向けた問題演習	定期試験 小テスト 授業態度 提出物等
---	---	---	--	------------------------------

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数 学	数学Ⅲ	5	3年12組

使用教科書	副教材
改訂版 数学Ⅲ (数研出版)	サクシード数学Ⅲ (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅲ (数研出版) クリアー数学演習Ⅲ受験編 (数研出版)

1. 学習の目標

微分法の応用、積分法、積分法の応用について理解をし、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。  
また、数学Ⅲの発展的な問題にふれ、大学入試の過去問題を通して、難関私大や国公立2次試験対応の記述力を高める。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して、各単元の考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に進んで活用する。	演習において、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるときともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	各単元の事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	各単元の基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、それらを身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	動画配信 (4/13-5/30)	数学Ⅲ「微分法～積分法」の内容を教科書・問題集を中心にNF-onlineで動画配信をし、生徒は視聴して、学習をする。	定期試験(期末) 授業態度・提出物等をもとに総合的に評価する。
	5			
	6	第5章 微分法  第6章 微分法の応用	4. 第n次導関数 5. 関数のいろいろな表し方と導関数  1. 接線と法線 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大と最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式、不等式への応用 7. 速度と加速度 8. 近似式	
2	7	第7章 積分法	1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法 3. 部分積分法 4. いろいろな関数の不定積分 5. 定積分とその基本性質 6. 定積分の置換積分法 7. 定積分の部分積分法 8. 定積分の種々の問題	定期試験(期末) 授業態度・提出物等をもとに総合的に評価する。
	9	第8章 積分法の応用	1学期期末試験  1. 面積 2. 体積 3. 曲線の長さ 4. 速度と道のり	

10	大学入試問題演習	1. 複素数平面	2. 複素数と図形 (1)
	I. 複素数平面	3. 複素数と図形 (1)	
	II. 式と曲線	4. 2次曲線	5. 媒介変数表示
		6. 極座標と極方程式	
	III. 関数	7. 分数関数・無理関数	8. 関数の性質
	IV. 極限	9. 数列の極限	10. 無限級数
		11. 漸化式と極限 (1)	12. 漸化式と極限 (2)
		13. 関数の極限	14. 関数の連続
	V. 微分法	15. 導関数	16. 高次導関数
	VI. 微分法の応用	17. 接線・法線	18. 関数の値の変化
		19. 最大・最小	20. 方程式への応用
		21. 不等式への応用	22. 平均値の定理, 速度と近似
		2学期期末試験	
	VII. 積分法	23. 不定積分	24. 定積分
		25. 定積分で表された関数 (1)	
		26. 定積分で表された関数 (2)	
		27. 定積分と級数	28. 定積分と不等式
	11	VIII. 積分法の応用	
		29. 面積 (1)	30. 面積 (2)
		31. 体積	32. 種々の量の計算
		33. 微分方程式	まとめの問題

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学特講 I	3	3年1～6組

使用教科書	副教材
数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B (数研出版)	ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B 受験編 (数研出版)

1. 学習の目標

数学Ⅱ, A, Bの内容の考えについて理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用できるようにする。基礎学力到達度テストや大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して, 数学Ⅱ, A, Bにおける考え方や体系に関心をもつとともに, 数学のよさを認識し, それらを事象の考察に進んで活用する。	数学的活動を通して, 数学Ⅱ, A, Bの考えにおける見方や考え方を身に付け, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学Ⅱ, A, Bの考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 処理する方法や表現の仕方, 推論の方法を身に付け, よりよく問題を解決する。	数学Ⅱ, A, Bの考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6	場合の数と確率	数学AⅡBの内容について, ニューステージの問題を課題として提示, NF-onlineで動画配信をし, 生徒は視聴し学習をする。 14. 場合の数・順列(1) 15. 順列(2)・組合せ 16. 確率(1) 17. 確率(2)	定期試験の成績 授業態度 小テスト 提出物等
	7	図形の性質 整数の性質 微分法と積分法 平面上のベクトル 空間のベクトル 数列	18. 平面図形(1) 19. 平面図形(2) 20. 空間図形 21. 整数の性質(1) 22. 整数の性質(2) 23. 整数の性質(3) 34. 導関数と接線 35. 関数の値の変化, 最大・最小 36. 微分法の応用 37. 不定積分・定積分 38. 面積 39. ベクトルの基本 40. 平面ベクトルと図形 41. 空間ベクトルと図形 42. 等差数列・等比数列 43. 種々の数列 44. 漸化式と数列 ※予定は都合により変更される場合があります。	期末試験
2	9		基礎学力到達度テストまで対策プリント演習	
	10		問題演習等	期末試験

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学特講 I	3	3年7・8・9組

使用教科書	副教材
数学 I, 数学 II, 数学 A, 数学 B (数研出版)	ニューステージ数学演習 I・A+II・B 受験編(数研出版)

1. 学習の目標

数学 I, II, A, Bの内容の考えについて理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用できるようにする。基礎学力到達度テストや大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して, 数学 I, II, A, Bにおける考え方や体系に関心をもつとともに, 数学のよさを認識し, それらを事象の考察に進んで活用する。	数学的活動を通して, 数学 I, II, A, Bの考えにおける見方や考え方を身に付け, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学 I, II, A, Bの考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 処理する方法や表現の仕方, 推論の方法を身に付け, よりよく問題を解決する。	数学 I, II, A, Bの考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	数学 II B 演習	数学 II B の内容について, ニューステージの問題を課題として提示, NF-online で動画配信をし, 生徒は視聴して学習をする。	定期試験の成績 授業態度 小テスト 提出物 等
	6	数学 I A 演習	1. 式の計算(1) 2. 式の計算(2) 3. 1次不等式 4. 集合 5. 命題と論証 6. 2次関数 7. 2次関数の最大・最小 8. 2次方程式と2次不等式 9. 三角比の基本 10. 三角比と図形(1) 11. 三角比と図形(2) 12. データの代表値と散らばり 13. データの相関 14. 場合の数・順列(1) 15. 順列(2)・組合せ 16. 確率(1) 17. 確率(2) 18. 平面図形(1) 19. 平面図形(2) 20. 空間図形 21. 整数の性質(1) 22. 整数の性質(2) 23. 整数の性質(3)	
	7	数学 II B 演習	24. 式と証明 25. 複素数と方程式(1) 26. 複素数と方程式(2) 27. 点・直線・円 28. 曲線と直線 29. 軌跡と領域	期末試験

2	9		30. 三角関数(1) 31. 三角関数(2) 32. 指数関数 33. 対数関数 39. ベクトルの基本 40. 平面ベクトルと図形 41. 空間ベクトルと図形 42. 等差数列・等比数列 43. 種々の数列 44. 漸化式と数列 34. 導関数と接線 35. 関数の値の変化, 最大・最小 36. 微分法の応用 37. 不定積分・定積分 38. 面積  基礎学力到達度テスト等入試対策	定期試験の成績 授業態度 小テスト 提出物 等
	10	総合演習	総合演習	学年末試験

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。



教科名	科目名	単位数	年・組
数 学	数学特講Ⅱ	5	3年11組

使用教科書	副教材
数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (数研出版)	クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 (数研出版)

1. 学習の目標

過去の入試問題を解き進めることによって、入試に必要な重要事項を再度確認し、大学入学共通テストレベルの問題に対応できる実践力を身に付けることを目標とする。また、大学入試の頻出問題の演習を通じて、難関大学合格への学力を高める。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して、各単元の考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に進んで活用する。	演習において、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるときともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	各単元の事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	各単元の基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、それらを身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6	Ⅰ 数と式  Ⅱ 関数と方程式・不等式  Ⅲ 式と証明  Ⅳ 整数の性質  Ⅴ 場合の数・確率  Ⅵ 図形の性質	数学ⅠAⅡBの内容について、クリアーの問題を課題として提示、NF-onlineで動画配信をし、生徒は視聴して学習をする。	
			1 式の計算	
			2 恒等式、割り算の問題	
			3 方程式・不等式の解法	
			4 関数とグラフ	
			5 最大・最小	
			6 2次方程式の理論	
			7 種々の方程式の問題	
			8 不等式の種々の問題	
			9 式の値、二項定理	
			10 等式・等式の証明	
			11 集合と論証	
			12 約数と倍数、余り	
			13 整数と方程式	
	14 整数の種々の問題			
	15 場合の数、順列			
	16 組合せ			
	17 確率(1)			
	18 確率(2)			
	19 図形の性質(1)			
20 図形の性質(2)				
7	Ⅶ 図形と式  Ⅷ 三角比・三角関数	21 点と直線		
		22 曲線と直線		
		23 軌跡		
		24 領域		
		25 図形と式の種々の問題		
		26 三角比と三角形		
		27 図形と計量		
		28 三角関数(1)		
		29 三角関数(2)		

2	9	IX 指数関数・ 対数関数 X 微分法  XI 積分法  XII ベクトル  XIII 数列  XIV データの分析	30 指数・対数の計算 31 指数・対数の種々の問題 32 導関数, 接線 33 関数の増減, 極値 34 最大・最小 (微分法) 35 方程式・不等式への応用 36 積分の計算 37 定積分で表された関数 38 面積 (1) 39 面積 (2) 40 ベクトル 41 内積 42 ベクトルと平面図形 43 ベクトルと空間図形 44 等差数列・等比数列 45 種々の数列 46 漸化式と数列 47 数学的帰納法 48 数列の応用問題 49 データの分析	定期試験の成績 小テスト 授業態度 提出物等
	10	総合演習	一般入試に向けた問題演習	定期試験の成績 小テスト 授業態度 提出物等

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学特講Ⅱ	5	3年12組

使用教科書	副教材
数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B(数研出版)	ニュースタンダード数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B受験編(数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅰ+A(数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)

1. 学習の目標

数学ⅠA・ⅡBの内容の考えについて理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに, それらを活用できるようにする。大学入学共通テストに向けての問題演習を行う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して, 数学ⅠAⅡBにおける考え方や体系に関心をもつとともに, 数学のよさを認識し, それらを事象の考察に進んで活用する。	数学的活動を通して, 数学ⅠAⅡBの考えにおける見方や考え方を身に付け, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学ⅠAⅡBの考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 処理する方法や表現の仕方, 推論の方法を身に付け, よりよく問題を解決する。	数学ⅠAⅡBの考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	数学ⅠAⅡB演習	数学ⅠAⅡBの内容について, ニュースタンダードのCHECK&REVIEWの問題を課題として提示, NF-onlineで参考動画を配信をし, 生徒は視聴して学習をする。	定期試験の成績 授業態度 小テスト 提出物 等
	5			
	6	数学ⅡB演習	ニュースタンダードのCHECK, TRIALの問題を中心に演習 22. 式の計算, 二項定理 23. 恒等式, 不等式 24. 複素数と2次方程式の理論 25. 因数定理, 高次方程式 26. 点・直線・円 27. 曲線と直線 28. 軌跡と領域 29. 三角関数(1) 30. 三角関数(2) 31. 指数・対数関数(1) 32. 指数・対数関数(2) 39. ベクトル 40. ベクトルと平面図形 41. ベクトルと空間図形 42. 等差・等比数列 43. 種々の数列 44. 漸化式, 数列の応用	
	7		33. 導関数と接線 34. 関数の値の変化 35. 微分法の応用 36. 不定積分・定積分 37. 面積(1) 38. 面積(2)	期末試験
	9	数学ⅠA演習	14. 場合の数, 順列 15. 組合せ 16. 確率(1)	

2		17. 確率(2) 18. 図形の性質(1) 19. 図形の性質(2) 20. 整数の性質(1) 21. 整数の性質(2) 1. 式の計算(1) 2. 式の計算(2) 3. 1次不等式 4. 集合と命題 5. 2次関数, 最大・最小(1) 6. 最大・最小(2) 7. 2次方程式と2次不等式 8. 2次関数の種々の問題 9. 三角比と図形(1) 10. 三角比と図形(2) 11. 図形の計量 12. データの代表値と散らばり 13. データの相関	定期試験の成績 授業態度 小テスト 提出物 等
	10	基礎学力到達度テスト, 大学入学共通テストの実践演習	学年末試験

※ 上記の内容は, 進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
数 学	数学特講Ⅲ	4	3年12組

使用教科書	副教材
数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B (数研出版)	クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 (数研出版)

1. 学習の目標

過去の入試問題を解き進めることによって、入試に必要な重要事項を再度確認し、大学入学共通テストレベルの問題に対応できる実践力を身に付けることを目標とする。また、大学入試の頻出問題の演習を通じて、難関大学合格への学力を高める。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
数学的活動を通して、各単元の考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に進んで活用する。	演習において、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるときともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	各単元の事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	各単元の基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、それらを身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5 6	Ⅰ 数と式  Ⅱ 関数と方程式・不等式  Ⅲ 式と証明  Ⅳ 整数の性質  Ⅴ 場合の数・確率  Ⅵ 図形の性質	数学ⅠAⅡBの内容について、クリアーの問題を課題として提示、NF-onlineで動画配信をし、生徒は視聴して学習をする。	
			1 式の計算	
			2 恒等式、割り算の問題	
			3 方程式・不等式の解法	
			4 関数とグラフ	
			5 最大・最小	
			6 2次方程式の理論	
			7 種々の方程式の問題	
			8 不等式の種々の問題	
			9 式の値、二項定理	
			10 等式・等式の証明	
			11 集合と論証	
			12 約数と倍数、余り	
			13 整数と方程式	
	14 整数の種々の問題			
	15 場合の数、順列			
	16 組合せ			
	17 確率 (1)			
	18 確率 (2)			
	19 図形の性質 (1)			
20 図形の性質 (2)				
7	Ⅶ 図形と式  Ⅷ 三角比・三角関数	21 点と直線		
		22 曲線と直線		
		23 軌跡		
		24 領域		
		25 図形と式の種々の問題		
		26 三角比と三角形		
		27 図形と計量		
		28 三角関数 (1)		
		29 三角関数 (2)		

2	9	IX 指数関数・ 対数関数 X 微分法  XI 積分法  XII ベクトル  XIII 数列  XIV データの分析	30 指数・対数の計算 31 指数・対数の種々の問題 32 導関数, 接線 33 関数の増減, 極値 34 最大・最小 (微分法) 35 方程式・不等式への応用 36 積分の計算 37 定積分で表された関数 38 面積 (1) 39 面積 (2) 40 ベクトル 41 内積 42 ベクトルと平面図形 43 ベクトルと空間図形 44 等差数列・等比数列 45 種々の数列 46 漸化式と数列 47 数学的帰納法 48 数列の応用問題 49 データの分析	定期試験の成績 小テスト 授業態度 提出物等
	10	総合演習	一般入試に向けた問題演習	定期試験の成績 小テスト 授業態度 提出物等

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	3	3年12組

使用教科書	副教材
数研出版 総合物理1 数研出版 総合物理2	啓林館 センサー 総合物理 数研出版 大学入試共通テスト試験対策

1. 学習の目標

物理現象を理解し、数学的な用法を用いて表すことが出来る。	物理事象の問題を理解し、解法出来る能力を身につける。
------------------------------	----------------------------

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
積極的に授業に参加する。	物理的な思考を身につける。	数式を用いて、問題を解ける。	物理現象を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	電流と磁場	(映像配信) 磁場 電流のつくる磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力	定期試験の点数と平常点(提出物・小テスト・授業態度)を考慮して評価する。
	6	電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流の発生 交流回路 電磁波	
	7	電子と光  原子と原子核	電子 光の粒子性 X線 粒子の波動性  原子の構造とエネルギー準位 原子核 放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子	
2	9 10	全体の復習	副教材を用いた入試問題演習 力学, 波動, 熱力学, 電磁気学	定期試験の点数と平常点(提出物・小テスト・授業態度)を考慮して評価する。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	3	3年12組

使用教科書	副教材
第一学習社「化学」	第一学習社「セミナー化学基礎+化学」 数研出版「フォトサイエンス化学図録」 数研出版「2020 化学重要問題集」 大学入学共通テスト 化学基礎 単元別問題集 (駿台文庫) 大学入学共通テスト 化学 単元別問題集 (駿台文庫)

1. 学習の目標

・化学についての応用的・発展的な課題を設定し、観察・実験などを通して研究を行い、化学的に探求する方法や問題解決の能力を身に付ける。
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求し、科学的な態度を身に付ける。	化学的な現象の中に問題を発見し、論理的・分析的に考察する。	化学的な現象に関する観察や結果から導いた考えを的確に表現する。	化学的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第5節 有機化合物と人間生活 ②単糖と二糖(多糖も含む)	(映像配信) 単糖・二糖・多糖の構造や性質について学習する。	定期試験・授業態度・小テスト・提出物等で評価
		③アミノ酸(タンパク質も含む)	アミノ酸とタンパク質の関連性をふまえて、構造や性質について学習する。	
		第V章高分子化合物 第1節高分子化合物 第3節高分子と人間生活	合成繊維の製法・構造・性質について学習する。 合成樹脂とゴムの製法・構造・性質について学習する。	
	5	基礎学対策演習 一般対策演習Ⅰ	(映像配信) 知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて学習する。(理論化学分野を中心に)	
6	基礎学対策演習 一般対策演習Ⅱ	知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて学習する。(理論化学分野を中心に)		
	7			
2	9	入試対策演習Ⅲ (一般私大対策)	更なる知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて分析・学習する。(化学総合分野)	定期試験・授業態度・小テスト・提出物等で評価
	10	一般対策演習Ⅳ (国公立対策)	更なる知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて分析・学習する。(化学総合分野)	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。



教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	3	3年12組

使用教科書	副教材
・東京書籍「改訂生物」	・第一学習社 「セミナー 生物+生物基礎」 ・第一学習社 スクエア最新図説生物

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化に生物が反応していることについて、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みを理解する。</li> <li>・生物の個体群と群集及び生態系について、それらの構造や変化の仕組みを理解し、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。</li> <li>・生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、生物界の多様性と系統を理解させ、進化についての考え方を身に付ける。</li> </ul>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探求する姿勢を身につける。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現する。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	4編 生物の環境応答	中枢神経系、効果器について学習する。	定期試験、授業態度(意欲・態度・発言など)、実験レポートをもとに総合的に評価する。
		1章 動物の刺激の受容と反応		
		2章 動物の行動		
	5	3章 植物の環境応答	行動の生得的要素とその後の修正、神経系の働きと行動の関係について学習する。	
		5編 生態と環境	環境要因による植物の反応(発芽・栄養成長・機構の開閉・花芽形成)、老化と落葉、ストレスに対する応答について学習する。	
		1章 生物の多様性と生態学	生物の多様性の現状について学習する	
		2章 個体群と生物群集	個体群、個体間や種間の相互作用、生物群集の成り立ちと多種の共存について学習する。	
	6	3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ	食物網と物質生産、生態系の構造とエネルギーの流れについて学習する。	
		4章 生態系と生物多様性	生物多様性の意味、減少させる要因、保全と復元についてについて学習する。  (以上4月、5月は映像授業)	
		6編 生物の進化と系統	生命の起源、地球環境の変化と真核生物の誕生、生物の変遷、人類の変遷について学習する。	
7	1章 生命の起源と生物の変遷	進化、変異とその起源、遺伝子頻度、種分化について学習する。		
	2章 進化のしくみ	系統、3ドメイン、5界説の生き物について学習する。		
2	9 10	生物基礎・生物全範囲	大学入学共通テスト・二次試験に向けた問題演習	定期試験、課題提出などをもとに総合的に評価。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	4	3年7～9組

使用教科書	副教材
数研出版 総合物理1 数研出版 総合物理2	啓林館 センサー 総合物理 数研出版 大学入試共通テスト試験対策

1. 学習の目標

物理現象を理解し、数学的な用法を用いて表すことが出来る。 物理事象の問題を理解し、解法出来る能力を身につける。
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
積極的に授業に参加する。	物理的な思考を身につける。	数式を用いて、問題を解ける。	物理現象を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	電流と磁場	磁場 (映像授業含)	定期試験の点数と平常点 (提出物・小テスト・授業態度) を考慮して評価する。
	5		電流のつくる磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力	
	6	電磁誘導と電磁波	電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流の発生 交流回路 電磁波	
	7	電子と光  原子と原子核	電子 光の粒子性 X線 粒子の波動性  原子の構造とエネルギー準位 原子核 放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子	
2	9	全体の復習	基礎学力到達度テスト、一般入試に向けた入試問題演習	定期試験の点数と平常点 (提出物・小テスト・授業態度) を考慮して評価する。
	10		原子についての復習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

令和2年度 理 科 シラバス (高等学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理	4	3年11組

使用教科書	副教材
数研出版 総合物理1 数研出版 総合物理2	啓林館 センサー 総合物理 数研出版 大学入試共通テスト試験対策

1. 学習の目標

物理現象を理解し、数学的な用法を用いて表すことが出来る。	物理事象の問題を理解し、解法出来る能力を身につける。
------------------------------	----------------------------

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
積極的に授業に参加する。	物理的な思考を身につける。	数式を用いて、問題を解ける。	物理現象を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	電子と光	電子 (映像授業含)	定期試験の点数と平常点 (提出物・小テスト・授業態度) を考慮して評価する。
	5		光の粒子性 X線 粒子の波動性	
	6	原子と原子核	原子の構造とエネルギー順位 原子核 放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子	
	7	問題演習	基礎・基本の総復習	
2	9	全体の復習	副教材を用いた入試問題演習	定期試験の点数と平常点 (提出物・小テスト・授業態度) を考慮して評価する。
	10		力学, 波動, 熱力学, 電磁気学	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	4	3年7～9組

使用教科書	副教材
第一学習社「化学」	第一学習社「セミナー化学基礎+化学」 数研出版「フォトサイエンス化学図録」 大学入学共通テスト 化学基礎 単元別問題集 (駿台文庫) 大学入学共通テスト 化学 単元別問題集 (駿台文庫)

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機物質の性質を理解する。</li> <li>・化学についての応用的・発展的な課題を設定し、観察・実験などを通して研究を行い、化学的に探求する方法や問題解決の能力を身に付ける。</li> </ul>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求し、科学的な態度を身に付ける。	化学的な現象の中に問題を発見し、論理的・分析的に考察する。	化学的な現象に関する観察や結果から導いた考えを的確に表現する。	化学的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	IV章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と構造 ①特徴と分類 ②化学式の決定 第2節 脂肪族炭化水素 ② アルケンとアルキン 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン	(映像配信) 炭化水素や、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性がその構造に特徴づけられることを見出す。 構造式からその性質や反応性を考察、判断する。 構造異性体の関係を理解し、知識を身に付ける。 代表的な官能基の性質に対する知識を身に付ける。 有機化合物の性質や反応性について、日常生活に関連付けて理解する。 官能基の性質に対する知識を身に付ける。 脂肪族炭化水素の性質や反応性、①と②の性質の相違を学習する。 酸素を含む脂肪族化合物の性質、その用途を学習する。	定期試験・授業態度・小テスト・提出物等で評価
		第4節 芳香族化合物 ①芳香族炭化水素 ②フェノール類と芳香族カルボン酸 ③アニリンとアゾ染料 ④混合物の分離法	(映像配信) 芳香族炭化水素、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族ニトロ化合物、芳香族アミン、アゾ化合物の性質、用途を学習し、また有機化合物の分離の原理を学習する。	
	6	4・5月の確認 基礎学対策演習	映像配信の内容を確認する 知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の	

1	7	一般対策演習 I	入試問題を用いて学習する。(理論化学分野・無機化学分野)	定期試験・授業態度・小テスト・提出物等で評価
2	9	基礎学対策演習 一般対策演習 I	知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて学習する。(理論化学分野・無機化学分野)	定期試験・授業態度・小テスト・提出物等で評価
	10	第5節 有機化合物と人間生活 ②単糖と二糖(多糖も含む) ③アミノ酸(タンパク質も含む) 第V章高分子化合物 第1節高分子化合物 第3節高分子と人間生活	単糖・二糖・多糖の構造や性質について学習する。 アミノ酸とタンパク質の関連性をふまえて、構造や性質について学習する。  合成繊維の製法・構造・性質について学習する。 合成樹脂とゴムの製法・構造・性質について学習する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学	4	3年11組

使用教科書	副教材
第一学習社「化学」	第一学習社「セミナー化学基礎+化学」 数研出版「フォトサイエンス化学図録」 数研出版「2020 化学重要問題集」 大学入学共通テスト 化学基礎 単元別問題集 (駿台文庫) 大学入学共通テスト 化学 単元別問題集 (駿台文庫)

1. 学習の目標

<p>・化学についての応用的・発展的な課題を設定し、観察・実験などを通して研究を行い、化学的に探求する方法や問題解決の能力を身に付ける。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求し、科学的な態度を身に付ける。	化学的な現象の中に問題を発見し、論理的・分析的に考察する。	化学的な現象に関する観察や結果から導いた考えを的確に表現する。	化学的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第5節 有機化合物と人間生活 ③アミノ酸(タンパク質も含む) 第V章高分子化合物 第1節高分子化合物 第3節高分子と人間生活	(映像配信) アミノ酸とタンパク質の関連性をふまえて、構造や性質について学習する。  合成繊維の製法・構造・性質について学習する。 合成樹脂とゴムの製法・構造・性質について学習する。	定期試験・授業態度・小テスト・提出物等で評価
	5	基礎学対策演習 一般対策演習Ⅰ	(映像配信) 知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて学習する。(理論化学分野を中心に)	
	6	基礎学対策演習 一般対策演習Ⅱ	知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて学習する。(理論化学分野を中心に)	
	7			
2	9	入試対策演習Ⅲ (一般私大対策)	更なる知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて分析・学習する。(化学総合分野)	定期試験・授業態度・小テスト・提出物等で評価
	10	一般対策演習Ⅳ (難関私立対策)	更なる知識力、思考力、問題解決能力の向上を目的として、過去の入試問題を用いて分析・学習する。(化学総合分野)	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	4	3年7組～9組

使用教科書	副教材
・東京書籍「改訂生物」	・第一学習社 「セミナー 生物+生物基礎」 ・第一学習社 スクエア最新図説生物

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化に生物が反応していることについて、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みを理解する。</li> <li>・生物の個体群と群集及び生態系について、それらの構造や変化の仕組みを理解し、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。</li> <li>・生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、生物界の多様性と系統を理解させ、進化についての考え方を身に付ける。</li> </ul>
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探求する姿勢を身につけている。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	4編 生物の環境応答	細刺激の受容から反応への情報の流れ、神経系を構成する細胞、興奮、刺激の受容と感覚、感覚器、中枢神経系、効果器について学習する。 行動の生得的要素とその後の修正、神経系の働きと行動の関係について学習する。	定期試験（中間・期末） 授業態度 （意欲・態度・発言など）、 実験レポート をもとに総合的に評価する。
		1章 動物の刺激の受容と反応		
		2章 動物の行動		
	5	3章 植物の環境応答	環境要因による植物の反応（発芽・栄養成長・機構の開閉・花芽形成）、老化と落葉、ストレスに対する応答について学習する。	
		5編 生態と環境	生物の多様性の現状について学習する	
	1章 生物の多様性と生態学			
	2章 個体群と生物群集	個体群、個体間や種間の相互作用、生物群集の成り立ちと多種の共存について学習する。		
6	3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ	食物網と物質生産、生態系の構造とエネルギーの流れについて学習する。		
	4章 生態系と生物多様性	生物多様性の意味、減少させる要因、保全と復元についてについて学習する。  (以上4月、5月は映像授業)		
	6編 生物の進化と系統	生命の起源、地球環境の変化と真核生物の誕生、生物の変遷、人類の変遷について学習する。 進化、変異とその起源、遺伝子頻度、種分化について学習する。 系統、3ドメイン、5界説の生き物について学習する。		
1章 生命の起源と生物の変遷				
2章 進化のしくみ				
7	3章 生物の系統			
2	9	基礎学力テストの範囲	・基礎学力到達度テストに向けた問題演習	定期試験、課題提出などをもとに総合的に評価。
	10	生物基礎・生物全範囲	センター試験に向けた問題演習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	生物	4	3年11組

使用教科書	副教材
・東京書籍 改定 生物	・第一学習社 「セミナー 生物+生物基礎」 ・第一学習社 スクエア最新図説生物

### 1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の生殖や発生について、植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解する。</li> <li>・環境の変化に生物が反応していることについて、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みを理解する。</li> <li>・生物の個体群と群集及び生態系について、それらの構造や変化の仕組みを理解し、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。</li> <li>・生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、生物界の多様性と系統を理解させ、進化についての考え方を身に付ける。</li> </ul>
---

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
・生物や生命現象に関心を持ち、主体的に探求する姿勢を身につけている。	・生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	・生物や生命現象に関する観察・実験技術を身に付けて、結果から出した考えを的確に表現することができる。	・生物や生命現象について基本的な概念や原理法則についての理解を深め、知識を身につけている。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	5編 生態と環境 1章 生物の多様性と生態学	・生物の現状について理解する。	定期試験、授業態度(意欲・態度・発言など)、課題提出などをもとに総合的に評価。
		2章 個体群と生物群集	・個体群と環境について理解する。 ・個体群の構造と成長について理解する。 ・個体間の相互作用について理解する。	
	5	3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ	・種間の相互作用について理解する。 ・生物群集の成り立ちと多種の共存について理解する。 ・食物網と物質生産について理解する。 ・生態系の構造とエネルギーの流れについて理解する。 ⇒4、5月の学習計画および、学習内容は、NF-online classの授業動画で配信。	
		6章 生態系と生物多様性	・生物多様性とその意味について理解する。 ・生物多様性を減少させる要因について理解する。 ・生物多様性の保全と復元について理解する。	
7	6編 生物の進化と系統 1章 生命の起源と生物の変遷	・生命の起源について理解する。 ・地球環境の変化と真核生物の誕生について理解する。 ・生物の変遷について理解する。 ・人類の変遷について理解する。		
	2章 進化のしくみ	・進化について理解する。 ・生物の個体間の変異とその起源について理解する。 ・遺伝子頻度とその変化のしくみについて理解する。 ・種分化について理解する。		



1	7	3章 生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の系統について理解する。</li> <li>・生物の世界の3ドメインについて理解する。</li> <li>・原核生物について理解する。</li> <li>・植物について理解する。</li> <li>・菌類について理解する。</li> <li>・動物について理解する。</li> </ul>	定期試験、授業態度（意欲・態度・発言など）、課題提出などをもとに総合的に評価。
2	9 10	全範囲	大学入学共通テストの問題演習	定期試験、課題提出などをもとに総合的に評価。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	物理研究	2	3年7・8・9組

使用教科書	副教材
数研出版 総合物理Ⅰ 数研出版 総合物理Ⅱ	啓林館 センサー総合物理 改訂版 大学入試センター試験対策 チェック&演習 物理

1. 学習の目標

センター試験、国公立大、難関私大に向けて標準問題、応用問題を確実に解ける実力を身に付ける。  
また、問題整理、立式、計算という問題解法の過程をより丁寧に素早く処理できるようにする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
毎回のレポート提出、小テストを考慮して評価する。	授業中の問題演習、小テスト等を通して、問題に対応できているかを評価する。	小テスト等を通して、適切な問題の解法ができていないかを評価する。	定期試験中心に、小テスト、レポートを通して、応用力が身に付いたかを評価する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動と力	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理研究演習実施表（初回の授業で配布する）に沿って授業の予習を行い、レポートを授業終了時に提出する。</li> <li>授業の最初に小テストを行う。</li> <li>小テスト後、次回の提出レポートの範囲内から演習問題を解き、解説する。</li> <li>授業進度は物理の進度に応じて随時変更する。</li> <li>大学入学共通テストや私大、国公立大の過去問等の問題演習を行う。</li> </ul>	1・2学期ともに、提出物 20%、小テスト 30%、定期テスト 50%の計 100点として評価する。 平常点は別途考慮する。
			※学校休業期間は映像授業での質問対応・配信とする	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の表し方</li> <li>落体の運動（放物運動も含む）</li> <li>力</li> <li>運動の法則</li> <li>大きさのある物体にはたらく力</li> <li>運動量</li> <li>円運動</li> <li>単振動</li> <li>万有引力</li> </ul>	
	7	エネルギー  波動	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事と力学的エネルギー</li> <li>熱と電気とエネルギー</li> <li>エネルギーと資源</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>波の性質</li> <li>波の干渉・回折・反射・屈折</li> <li>音波の性質と音源の振動</li> <li>ドップラー効果</li> <li>光の性質</li> <li>光の回折と干渉</li> </ul>	

1	7	電気と磁気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電界と電位</li> <li>・コンデンサー</li> <li>・電流</li> </ul>	1・2学期ともに、提出物 20%、小テスト 30%、定期テスト 50% の計 100 点として評価する。 平常点は別途考慮する。
2	9 10	入試問題演習 電気と磁気  原子・分子の世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一試験に向けた入試問題演習、及び全体の復習</li> <li>・電流と磁界</li> <li>・電磁誘導</li> <li>・交流と電磁波</li> <li>・波動性と粒子性</li> <li>・電子と物質</li> <li>・原子核と素粒子</li> </ul>	1・2学期ともに、提出物 20%、小テスト 30%、定期テスト 50% の計 100 点として評価する。 平常点は別途考慮する。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	化学研究	2	3年7～9組

使用教科書	副教材
・第一学習社「化学基礎」 ・第一学習社「化学」	大学入学共通テスト 化学基礎 単元別問題集 (駿台文庫) 大学入学共通テスト 化学 単元別問題集 (駿台文庫)

1. 学習の目標

・センター試験、統一テスト、他大受験に向けて標準問題、応用問題を確実に解ける実力を身に付ける。
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
化学的な現象の中に問題を見出す。	事象を理論的に考察し、判断する。	化学的な事物の探求法を身に付ける。	基本的な概念・原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	化学基礎 第1章 物質の構成と人間生活 1. 化学と人間生活  2. 物質の構成  2. 酸と塩基の反応	(映像配信) 混合物と純物質、混合物の分離、元素、同素体などの演習問題を行う。  原子の構成、同位体、電子配置、価電子、周期律、周期表、イオン、イオンの大きさ、分子の形成、構造式、電子式、共有結合、分子間力、金属結晶などの演習問題を行う。	定期試験、提出物、授業態度で評価
	5	第2章 物質の変化 1. 物質と化学反応式	(映像配信) 原子量、分子量、式量、物質質量、アボガドロ定数、溶液の濃度、化学反応式、量的関係、諸法則などの演習問題を行う。	
	6	4・5月の確認  2. 酸と塩基の反応	映像配信の内容を確認する  酸・塩基、水の電離と水素イオン濃度、指示薬とpHの測定、中和、塩、塩の加水分解、中和滴定、中和滴定曲線などの演習問題を行う。	
	7	3. 酸化還元反応  化学 第1章 物質の状態と平衡	酸化・還元、酸化数、酸化剤と還元剤、酸化還元反応式、金属のイオン化傾向と反応性、電池、水溶液の電気分解、電気分解における量的関係などの演習問題を行う。  気体の体積変化、状態方程式、理想気体と実在の気体、溶解と溶液、希薄溶液性質、コロイド溶液などの演習問題を行う。	
2	9	第2章 物質の変化と平衡	反応熱、熱化学方程式、ヘスの法則、化学反応の速さと濃度・圧力・温度・触媒、可逆変化、平衡状態と平衡移動、平衡定数、電離平衡などの演習問題を行う。	定期試験、提出物、授業態度で評価

2	10	第3章無機物質  総合問題演習	<p>元素の分類、水素・酸素とその化合物、希ガス、ハロゲンとその化合物、硫黄とその化合物、窒素・リンとその化合物、炭素・ケイ素とその化合物などの演習問題を行う。</p> <p>アルカリ金属とその化合物、2族元素とその化合物、亜鉛・アルミニウム・スズ・鉛とその化合物の演習問題を行う。</p> <p>遷移元素、銅とその化合物、銀とその化合物、鉄とその化合物、クロム・マンガンとその化合物、金属イオンの定性分析などの演習問題を行う。</p> <p>大学入学共通テスト対策等の問題演習を2学期期末テストまで行う</p>	定期試験、提出物、授業態度で評価
---	----	-----------------------	--	------------------

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

令和2年度 理 科 シラバス (高等学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
理 科	生物研究	2	3年7組・8組・9組

使用教科書	副教材
数研出版 生物基礎 第一学習社 高等学校 生物	第一学習社 スクエア最新図説生物 neo 旺文社 入門問題精講

1. 学習の目標

生物基礎の内容を総復習し、基礎学力到達度テストやセンター試験、一般入試への実力を養成する。
---

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
生物や、生命現象に関心や探求心を持ち、主体的に探求すると主に、科学的態度を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	生物や生命現象に関する観察・実験の後術を身につけ、結果から導き出した考えを的確に表現することができる。	生物や生命現象について基本的な概念や原理法則に付いての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	「生物基礎」 第1章 細胞と個体	各単元について復習を行う。 ①細胞の構造と働き ②生体膜の構造と働き ③体細胞分裂 ④生物体の構造 ⑤酵素 ⑥異化と同化 ①～⑥については、印刷したものを各自で学習する	定期試験・授業態度・ノート・宿題をもとに総合的に評価する。
	5	第2章 代謝 第3章 遺伝情報とその発現 (中間試験)	⑦遺伝子の本体と働き ⑧遺伝子の発現 ⑤体液 ⑥免疫 ⑦腎臓と肝臓 ⑧自律神経系とホルモン ④個体群 ⑤バイオームと生態系 ⑥生態系とその平衡	
	6	第6章 体内環境の維持 第9章 生態と環境 第4章 生殖と発生	⑨生殖法・減数分裂 ⑩配偶子形成と受精 ⑪発生のしくみ	
2	9	第5章 遺伝	⑫遺伝 ⑬遺伝子と染色体 ⑭いろいろな遺伝 【基礎学力テスト対策、大学入学共通テスト生物基礎の過去問演習】	定期試験・授業態度・ノート・宿題をもとに総合的に評価する。
	10			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理 科	理科研究	3	3年12組

使用教科書	副教材
数研出版 高等学校 生物基礎 数研出版 高等学校 化学基礎	駿台文庫 大学入学共通テスト試験 生物基礎単元別問題集

1. 学習の目標

生物基礎・化学基礎の内容を総復習し、共通テストに向けての実力を身につける。
---------------------------------------

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
生物や、生命現象に関心や探求心を持ち、主体的に探求すると主に、科学的態度を身につけている。  化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的態度を身につける。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。  化学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察してりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断する。	生物や生命現象に関する観察・実験の技術を身につけ、結果から導き出した考えを的確に表現することができる。  化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探求する方法を身につけ、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	生物や生命現象について基本的な概念や原理法則に付いての理解を深め、知識を身につけている。  観察、実験などを通して化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	共通テスト対策 生物基礎	1. 生物の特徴 生物の構造と機能、細胞とエネルギー、代謝について復習し、演習問題を解く。 2. 遺伝子とその働き 遺伝情報と DNA、遺伝情報よタンパク質について復習し、演習問題を解く。 3. 生物の体内環境 体液の恒常性。自律神経とホルモン、免疫機構について復習し、演習問題を解く。	定期試験（期末） 授業態度・ノート・宿題をもとに総合的に評価する。
	5			
	6	共通テスト対策 化学基礎	第1章 物質の構成と人間生活 §1 化学と人間生活 混合物と純物質、混合物の分離、元素、同素体などの演習問題を行う。 §2 物質の構成 原子の構成、同位体、電子配置、価電子、周期律、周期表、イオン、イオンの大きさ、分子の形成、構造式、電子式、共有結合、分子間力、金属結晶などの演習問題を行う。	

2	9  10	「生物基礎」          「化学基礎」	<p>4. 植生の多様性と分布 植生の多様性、バイオーム、生態系について復習し、演習問題を解く。</p> <p>5. 生態系とその保全 生態系における物質の流れ、保全に関する演習問題を解く。</p> <p>6. 共通テストの過去問、演習問題を解く。</p> <p>第2章 物質の変化 §1 物質と化学反応式 原子量、分子量、式量、物質質量、アボガドロ定数、溶液の濃度、化学反応式、量的関係、諸法則などの演習問題を行う。</p> <p>§2 酸と塩基の反応 酸・塩基、水の電離と水素イオン濃度、指示薬と pH の測定、中和、塩、塩の加水分解、中和滴定、中和滴定曲線などの演習問題を行う。</p> <p>§3 酸化還元反応 酸化・還元、酸化数、酸化剤と還元剤、酸化還元反応式、金属のイオン化傾向と反応性、電池、水溶液の電気分解、電気分解における量的関係などの演習問題を行う。</p>	定期試験（中間・期末） 授業態度・ノート・宿題をもとに総合的に評価する。
---	-------------	--	---	---

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある



教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	体育	3	3年・全

使用教科書	副教材
アクティブスポーツ (大修館書店)	健康手帳 (大修館書店)

1. 学習の目標

○各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、健康・安全に留意し、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通して継続的に運動する態度や能力を育てる。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
各種目の特性に関心をもち、自ら選び、自ら学ぶ意欲で生涯スポーツと結びつけ、積極的に参加する。	自己の能力・適性や関心に応じた種目選択をし、課題解決のための練習方法等を自ら計画し、実践する。	自己の身体や動きに対する意識・知覚を養い、種目の特性に応じた技能を身につける。	自己の選択、計画、活動を自己評価し、自身への理解を深めると共に、ルールやマナー、安全に関する知識を身につけ、ゲーム等の運営ができる。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	動画配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操第1</li> <li>・整列、列の増減、方向転換、人員点呼、行進</li> <li>・50m走、持久走、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、握力、長座体前屈、反復横跳び、上体起こし、肺活量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特性を理解しグループ別学習を協力して行なえる。</li> <li>・測定項目から自己の体力課題を把握し、改善策を考える。</li> <li>・種目特性を理解し、基本的な技能を身につける事ができる。</li> <li>・練習法などを理解し、仲間と協力して実施できる。</li> <li>・各種目の特性やルールを理解し、課題の研究ができる。</li> <li>・安全に留意し、公正な姿勢で練習や試合が実施できる。</li> </ul>
	5			
	6	○ラジオ体操		
		○集団行動		
		○スポーツテスト		
		○球技 I (選択制)		

2	9	○球技Ⅱ（選択制） ・ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人技能（ストローク、ボレー、サービス、スマッシュ）</li> <li>ダブルスのコンビネーション等</li> <li>簡易ゲーム、試合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的技能を身につけ、25m泳ぐ事ができる。</li> <li>救助法について理解し、緊急時の対応について理解する。</li> <li>各種目の特性や課題の研究ができる。</li> <li>安全に留意して実施できる。</li> </ul>
	10	・バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人技能（パス、サービス、スパイク、ブロック、レシーブ）</li> <li>集団技能（三段攻撃等）</li> <li>簡易ゲーム、試合</li> </ul>	
	11	・卓球	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人技能（サービス、ストローク、スマッシュ）</li> <li>シングルス、ダブルスのコンビネーション等</li> <li>簡易ゲーム、試合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種目特性を理解し、基本的な技能を身につける事ができる。</li> <li>練習法などを理解し、仲間と協力して実施できる。</li> <li>各種目の特性やルールを理解し、課題の研究ができる。</li> <li>安全に留意し、公正な姿勢で練習や試合が実施できる。</li> </ul>
		○軽スポーツ ニュースポーツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種のスポーツに挑戦する</li> <li>個人技能</li> <li>集団技能</li> <li>簡易ゲーム、試合 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種目特性を理解し、基本的な技能を身につける事ができる。</li> <li>練習法などを理解し、仲間と協力して実施できる。</li> <li>各種目の特性やルールを理解し、課題の研究ができる。</li> <li>安全に留意し、公正な姿勢で練習や試合が実施できる。</li> </ul>

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語表現Ⅱ	4	3年1組～9組

使用テキスト	副教材
Workbook for Practice マスターコース (数研出版) 英語構文ワーク 100 (数研出版)	Vintage 準拠ランダム問題集 Aviator 450 (いっずな書店) 共通テスト 10 分リスニングプレノート (数研出版)

1. 学習の目標

大学入試に対応できる実戦的な総合英語力を身につける。
----------------------------

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
文法・語法を積極的に習得する。英語を理解することに関心を持ち、言語活動を通してコミュニケーションを図ろうとする。	文法・語法力を駆使し、幅広い話題について、情報や考えなど、自分が伝えたいことを英語で表現しようとする。	文法・語法力を使って、英語を聞き、英文を読み、情報や考えなど相手が伝えようとするのを整理し、内容を理解しようとする。	幅広い話題に関する英語学習を通して、言語とその運用の知識を身につけ、背景の文化、習慣、歴史、考え方などを理解しようとする。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	プリント	自宅学習対応	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
		Workbook for Practice 英語構文ワーク 100 共通テスト 10 分リスニング プレノート	Lesson 1 ～ 2 1, 2 第 1 回～第 2 回	
		Workbook for Practice 英語構文ワーク 100 共通テスト 10 分リスニング プレノート	Lesson 3 ～ 6 3, 4, 5, 6 第 3 回～第 6 回	
		Workbook for Practice 英語構文ワーク 100 共通テスト 10 分リスニング プレノート	Lesson 7 ～ 12 7, 8, 9 第 7 回～第 1 2 回	
	7	Workbook for Practice 共通テスト 10 分リスニング プレノート	Lesson 13 ～ 16 第 1 3 回～第 1 5 回	
2	9	プリント	基礎学力到達度テスト対策	定期試験 授業態度 小テスト 提出物等
		Workbook for Practice 英語構文ワーク 100 共通テスト 10 分リスニング プレノート	Lesson 17 ～ 18 10, 11, 12 第 1 6 回～第 1 9 回、模擬テスト第 1 回	
		Workbook for Practice 英語構文ワーク 100 共通テスト 10 分リスニング プレノート	Lesson 19 ～ 20, 演習問題 13, 14, 15 第 2 0 回～第 2 4 回、模擬テスト第 2 回	
		プリント	センター試験・一般受験対策・英語の基礎知識	

※ Aviator450 は自主学習や長期休暇中の課題として使用し、定期試験の範囲に入れることもある。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

令和2年度 英語科 シラバス (高等学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語表現Ⅱ	4	3年10組～12組

主教材	副教材
全演習 発展 英文法・語法問題1100 (いっぴな書店) 入試必携英作文 Write to the Point (数研出版) 共通テスト10分リスニングプレノート (数研出版)	Vintage 準拠ランダム問題集 Aviator600 (いっぴな書店)

1. 学習の目標

大学入試に対応できる実戦的な総合英語力を身につける。
----------------------------

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
文法・語法を積極的に習得する。英語を理解することに関心を持ち、言語活動を通してコミュニケーションを図ろうとする。	文法・語法力を駆使し、幅広い話題について、情報や考えなど、自分が伝えたいことを英語で表現しようとする。	文法・語法力を使って、英語を聞き、英文を読み、情報や考えなど相手が伝えようとするのを整理し、内容を理解しようとする。	幅広い話題に関する英語学習を通して、言語とその運用の知識を身につけ、背景の文化、習慣、歴史、考え方を理解しようとする。

3. 学習内容および学習計画等

学期	月	学習教材	単元・学習項目	評価方法	
1	4	英文法・語法問題1100	Lesson 1 動詞の語法 Lesson 2 時制 Lesson 3 態 Lesson 4 助動詞 Lesson 5 仮定法 Lesson 6 不定詞	定期試験 授業態度 小テスト 提出物 朝学テスト等	
		英作文 Write to the Point	1. 主語の決定 (1) 2. 主語の決定 (2) 3. 目的の表現 4. 理由の表現		
		リスニングプレノート	第1回 1A・1B 第2回 2 第3回 3 第4回 1A・1B 第5回 2 第6回 3 第7回 1A・1B 第8回 2 第9回 3 第10回 4A・4B		
	6	5	英文法・語法問題1100		Lesson 7 分詞 Lesson 8 動名詞 Lesson 9 動詞を含むイディオム Lesson 10 形容詞の語法 Lesson 11 副詞の語法 Lesson 12 比較
			英作文 Write to the Point		5. 時制 (1) 6. 時制 (2) 7. 動詞の語法 8. 関係詞 9. 時間の表現
		7	英文法・語法問題1100		Lesson 7 分詞 Lesson 8 動名詞 Lesson 9 動詞を含むイディオム Lesson 10 形容詞の語法 Lesson 11 副詞の語法 Lesson 12 比較
			英作文 Write to the Point		5. 時制 (1) 6. 時制 (2) 7. 動詞の語法 8. 関係詞 9. 時間の表現

1	6 7	リスニングプレノート	第11回5 第12回6A・6B 第13回4A・4B 第14回5 第15回6A・6B	
2	9	英文法・語法問題 1100	Lesson 13 形容詞・副詞を含むイディオム Lesson 14 冠詞と名詞の語法 Lesson 15 代名詞の語法 Lesson 16 名詞を含むイディオム Lesson 17 関係詞の用法 Lesson 18 接続詞の用法	定期試験 授業態度 小テスト 提出物 朝学テスト等
		入試必携 英作文	10. 数字の表現 11. 仮定・条件の基本 12. 仮定・条件の応用 13. 比較の基本 14. 比較の応用	
		リスニングプレノート	第16回4A・4B 第17回5 第18回6A・6B 第19回4A・4B 模擬テスト第1回	
	10 11	英文法・語法問題 1100	Lesson 19 前置詞と群前置詞の用法 Lesson 20 主語と動詞の一致 Lesson 21 疑問文の語順 Lesson 22 否定・省略・協調 Lesson 23 時制の一致と話法 Lesson 24 会話表現 Lesson 25 共通語補充	
		入試必携 英作文	15. 譲歩の表現 16. 重要表現(1) 17. 重要表現(2) 18. Aは・・・だ	
		リスニングプレノート	第20回5 第21回6A・6B 第22回4A・4B 第23回5 第24回6A・6B 模擬テスト第2回	

※ 「ランダム問題集 Aviator600」は家庭学習及び長期休暇中の課題として使用する。  
上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	3年12組

使用教科書	I
LANDMARK (KEIRINKAN)	Neo 現代を探る (IIZUNA SHOTEN) 英文読解 FOCUS 記述発展編 (難解大対策実践演習) Z会 速読英単語上級編 (Z-KAI)

1. 学習の目標

- 英文を速く読み (200語/1分が目安)、内容を正確に理解し、論理的に文章の構成を考える力を身につける。総合的な力でもって積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- 時代のニーズに即した様々な分野の内容の英文を読むことにより、多様な語彙力で視野を広げ深く考える力を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
言語活動に関心を持ち、英語を通して様々な文化を理解する。	文章の内容を構造的に理解し自分の考えを適切に表現する。	多岐にわたる分野の英文を読み聴くことによって語法・表現法を体得する。	英文の背景にある文化の違いや価値観、また歴史なども理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4/5月	オリエンテーション (プリント送付)	授業の進め方・家庭学習の方法 教科書や問題集への取り組み方の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・定期試験</li> <li>・確認テスト</li> <li>各課の単語や熟語の確認テスト。内容把握のT/F問題のプリント</li> <li>・速読英単語の聴き取りしながら Dictation テスト</li> </ul>
		LAND MARK (動画配信) 速読力とリスニング力を鍛えるために、内容把握を第一として、進める。	Lesson 1 Caffeine: The World's Favorite Drug	
			Lesson 2 Blood is Blood(当時の黒人差別の実態)	
			Lesson 3 Australia and its Creatures (オーストラリアの生態系)	
			Lesson 4 The \$100,000Salt and Pepper Shaker( 物語 )	
	6月 (2週分) 7月 (1週分)	LAND MARK	Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain	
			Lesson 6 Communication without Words(ボディランゲージ)	
			Lesson 7 Political Correctness(差別や偏見のない用語)	
英文読解 FOCUS 記述発展編	Lesson 8 Animal Math(動物の数学的な能力)			
	Unit 1～10 (国公立大学の2次試験の記述の解答の作成に於いての完成度を目指して演習する) Unit 11～20を夏課題とする			
速読英単語上級編 Lesson1～20		毎授業で、1レッスンの単語を音読し、文章を速読する。CDを繰り返し家庭で聞くことを課する。その次の授業でCDを2回流して、Dictationテストを実施 (Lesson1～20)		
2	9・10月 期末試験前	LAND MARK	Lesson 9 Learning a First Culture (子供の社会性)	
			Lesson 10 Light Pollution (人工の光の影響)	
	Neo 現代を探る Advanced	Unit 1～20		
速読英単語上級編		毎授業で、1レッスンの単語を音読し、文章を速読する。CDを繰り返し家庭で聞くことを課する。その次の授業でCDを2回流して、Dictationのテストを実施 (Lesson21～48)		

2学期は大学入試問題を取り入れて、授業を進める。特に時間配分や速度などを意識させながら、必修の英単語を習得し、話の流れを利用しつつ、単語のパーツの推測などの練習を意識しながら実行できるよう、指導していく。

※進度によって内容を変更することがあります。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	3年1組～9組

使用教科書	副教材
LANDMARK English Communication Ⅲ (啓林館)	Front Runner 2 (数研出版) 速読英単語(必修編) (Z会) UNITE Stage 4 (数研出版) ※課題用 PATH FINDER 標準編 (いっずな書店) ※課題用 Jet Reading Level 3 (数研出版) ※朝学習用

1. 学習の目標

<p>○英語で書かれている文章を速く読み、内容を正確に理解する。また論理的に文章の構成を考える力を身につけ、このことにより積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。</p> <p>○音読活動により、単語や文法知識の定着、速読、「聞く・話す・読む・書く」といった4技能を高める。</p> <p>○様々な分野の英文を読むことにより視野を広げ語彙力も増やす。</p>
--

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
言語活動に積極的に参加し、英語を通して様々な文化を理解する。	文章の内容を構造的に理解し自分の考えを論理的に表現する。	多岐にわたる分野の英文を読み聴くことによって語法・表現法を体得する。	英文の背景にある文化の違いや価値観、また歴史なども理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4 5	LANDMARK	Lesson 1～6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験</li> <li>・提出物</li> <li>・小テスト</li> <li>・学習活動への取り組み</li> </ul>
		Front Runner	Lesson 1～5	
		速読英単語	1～20	
		Jet Reading	Lesson 1～10	
6 7 期末試験前		LANDMARK	Lesson 1～6 まとめ・復習、Lesson 7～10	
		Front Runner	Lesson 1～5 まとめ・復習、Lesson 6～10	
		速読英単語	1～40	
		Jet Reading	Lesson 11～16	
夏季 休暇	7 8 夏季休暇中の課題	UNITE	Lesson 1～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・小テスト</li> <li>・学習活動への取り組み</li> </ul>
		速読英単語	41～60	
		PATHFINDER	LESSON 1 ～ Review & Practice 7 & 8 LESSON 9 ～ Review & Practice 11 & 12	
2	9 10 期末試験前	LANDMARK	Lesson 11, 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験</li> <li>・提出物</li> <li>・小テスト</li> <li>・学習活動への取り組み</li> </ul>
		Front Runner	Lesson 11～15	
		速読英単語	41～70	
		UNITE	Lesson 11～14 Optional Lesson	
		PATH FINDER	LET' S TRY! 1～ LET' S TRY !4	
		Jet Reading	Lesson 17～22	

\* 学習内容や進度については到達度に応じて変更することもあります。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	コミュニケーション英語Ⅲ	5	3年10・11組

使用教科書	I
LANDMARK (KEIRINKAN)	・アップリフト英語長文読解入試演習2 (Z-KAI) ・OVER ALL 5 英語総合問題集 (Z-KAI) ・速読英単語上級編 (Z-KAI)

1. 学習の目標

- 英文を速く読み (200語/1分が目安)、内容を正確に理解し、論理的に文章の構成を考える力を身につける。総合的な力でもって積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- 時代のニーズに即した様々な分野の内容の英文を読むことにより、多様な語彙力で視野を広げ深く考える力を身につける。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
言語活動に関心を持ち、英語を通して様々な文化を理解する。	文章の内容を構造的に理解し自分の考えを適切に表現する。	多岐にわたる分野の英文を読み聴くことによって語法・表現法を体得する。	英文の背景にある文化の違いや価値観、また歴史なども理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4/5月	オリエンテーション (プリント送付)	授業の進め方・家庭学習の方法 教科書や問題集への取り組み方の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・定期試験</li> <li>・確認テスト</li> <li>テキストの各課の単語や熟語の確認と内容のT・Fのプリントを実施</li> <li>・速読英単語の聴き取り・各課の単語熟語の確認テスト・内容把握のテストなど</li> </ul>
		LAND MARK (動画で配信)	Lesson 1 Caffeine: The World's Favorite Drug	
			Lesson 2 Blood is Blood (当時の黒人差別の実態)	
			Lesson 3 Australia and its Creatures (オーストラリアの生態系)	
			Lesson 4 The \$100,000 Salt and Pepper Shaker (物語)	
Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain				
6月 (2週分) 7月 (1週分)	LAND MARK	Lesson 6 Communication without Words (ボディランゲージ)		
		Lesson 7 Political Correctness (差別や偏見のない用語)		
		Lesson 8 Animal Math (動物の数学的な能力)		
		アップリフト英語長文読解入試演習2	Lesson 1~10 (11~20を夏課題とする)	
速読英単語必上級編		毎授業で、1レッスンの単語を音読し、文章を速読する。CDを繰り返し家庭で聞くことを課する。また、授業中でもCDをフレーズで流し、長文の理解をリスニングで鍛錬する。次回の授業でCDを2回流して、Dictationテストを実施 (Lesson 1~30)		
2	9・10 期末試験前	LAND MARK	Lesson 11 Learning a First Culture (子供の社会性)	
			Lesson 12 Light Pollution (人工の光の影響)	
		Over All 5	Unit 1~15	
速読英単語上級編		毎授業で、1レッスンの単語を音読し、文章を速読する。CDを繰り返し家庭で聞くことを課する。その次の授業でCDを2回流して、Dictationのテストを実施 (Lesson 31~48)		

2学期は大学入試問題を取り入れて、授業を進める。特に時間配分や速度などを意識させながら、必修の英単語を習得し、話の流れを利用し単語のパーツの推測などの練習を意識しながら実行できることを目標とする。

※進度によって内容を変更することがあります。



教科名	科目名	単位数	年・組
情報	情報の科学	2	3年全クラス

使用教科書	副教材
東京書籍 情報の科学	数研出版 プログラミング入門 ExcelVBA 編

### 1. 学習の目標

情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得し、情報に関する科学的な見方や考え方を身につけるとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解し、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につける。情報機器等を活用して情報に関する科学的思考力・判断力等を学び、社会の情報化の進展に主体的に寄与することができる能力・態度を身につける。情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用する。

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
情報社会の発展に役立つことを自ら進んで行い、よりよい情報社会にするために貢献できる能力・態度を身につける。	情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能の習得を通して問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。	情報技術の面から情報社会の特性や在り方を考えさせ、ルール、マナー、情報の安全性などに関する基礎的な知識と技能を習得する。	情報技術の役割や影響を理解させ、情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能の習得をする。

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス	教科情報とは何か (映像にて)	
		コンピュータの仕組みと働き	情報のデジタル化 (映像にて説明・解説)	課題評価、定期試験
		情報社会の科学的な理解	暮らしの中の情報化 (映像にて説明・解説) 社会の情報化と生活の変化 (映像にて説明・解説) セキュリティの重要性 (映像にて説明・解説) 操作性の向上と情報技術 (映像にて説明・解説) セキュリティの重要性 (映像にて説明・解説) 安全を驚かさず要因と対策 (映像にて説明・解説) 問題解決と情報の評価 (映像にて説明・解説)	課題評価、定期試験
	5	問題解決とコンピュータの活用・総合実習	PCの使い方 (映像にて説明・解説) 表計算ソフトの利用 (映像にて説明・解説) 文書作成ソフトの利用 (映像にて説明・解説)	定期試験、作成物評価及び課題評価
		情報社会の科学的な理解	情報社会の安全とルール (映像にて説明・解説) 新たなコミュニティ (映像にて説明・解説) 情報モラルとマナー (映像にて説明・解説)	課題評価、定期試験
		コンピュータの仕組みと働き	アルゴリズム プログラム	定期試験及び授業態度
7	問題解決とコンピュータの活用・総合実習	表計算ソフトの利用 VBAによるプログラミング	定期試験、作成物評価及び授業態度	
2	9	コンピュータの仕組みと働き	数値と文字の表現 画像と音の表現 デジタルの特徴 コンピュータの構成	定期試験及び授業態度
			処理の仕組み 情報通信ネットワークの構成	定期試験及び授業態度
	10	総合実習	文章作成 (レポートの作り方)	授業態度

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		1	3年全クラス

使用教科書	副教材
なし	「総合的な学習の時間」用のノート

### 1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

### 2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解

### 3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	5 6	進路研究	他大学・各種学校説明会、日大学部説明会・受験ガイダンス、三者面談、実力テスト・模擬試験・センタープレテスト等を利用して、進路研究を行う。(16時間)	1. Classi ポートフォリオ振り返りアンケートへの入力 2. 事前・事後学習をノートへの記載
	7	水泳球技大会	本校プール・体育館等にて、中学・高校全体の水泳球技大会を行う。(4時間)	
2	9 10	体育祭 日藤祭	本校NFグラウンドにて、中学・高校全体の体育祭を行う。(6時間) クラスの催しやクラブ活動の発表・展示等を準備日も含め、3日間にかけて行う。(9時間)	1. Classi ポートフォリオ振り返りアンケートへの入力 2. 事前・事後学習をノートへの記載
	11			
	12			
3	1 2 3			

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。